

DP-V3120

動画ディスプレイ

操作ガイド

ご使用の前に、必ず本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書はいつでもご覧になれるよう、大切に保管してください。

使用説明書

日本語

ディスプレイ製品の使用説明書について

- セットアップガイド(冊子)：本機を正しく安全にお使いいただくために守っていただきたい事項と、本機の設置方法・基本操作について説明しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。製品に付属しています。
- 操作ガイド(本書)：本機の機能や、設定方法について説明しています。

目次

はじめに 3

- 本書について 3
- 商標 3

操作のしかた 4

- OSDメニューの基本操作 4
- 映像全体を見ながら画質を調整する 5
- 調整値を一時保存する(アンカーポイントの設定) 7
- ズーム表示を調整する 7
- 入力信号に応じて自動的に画質を切り換える 8
- 画面の右側／左側の画質を調整する(画質比較モード) 9
- エクスポート／インポートする 10
- 日時を設定する 13
- 文字を入力する 13
- ファンクション(F)ボタンを使う 14
- チャンネル(CH)ボタンを使う 15
- 信号情報や本機の状態を確認する 18
- 外部機器を使って本機を操作する
[REMOTE端子(GPI)] 18
- 外部機器を使って本機を操作する
[LAN端子] 19
- 外部機器を使って本機を操作する
[USB端子：Wi-Fi接続] 20
- Webブラウザを使って本機をリモート操作する 22

OSDメニュー 25

- 画質設定 25
- チャンネル設定 41
- ディスプレイ設定 46
- オーディオ設定 50
- マーカー設定 51
- ファンクション設定 56

- ピクチャーファンクション設定 69
- ネットワーク/IMD設定 73
- システム設定 75
- シグナルインフォメーション 82
- システムインフォメーション 82

対応信号フォーマット 83

画像・フレーム表示 98

エラーメッセージ 101

こんなときは 103

本機で使用しているソフトウェアについて 105

索引 111

ご購入時、本機のOSD(On Screen Display)メニューや表示されるメッセージは、英語表記になっています。必要に応じて、OSDメニューで言語を切り換えてください(📖75)。

本書について

本書では、見やすくするために加工した画面を一部、使用しています。

本文中の表記

📖：参照ページを示します。

🔍 参考：参考情報を示します。

📌 メモ：知っておいていただきたいことを示します。

⚠️ ご注意：守っていただきたいことを示します。

MENU ➡ [画質設定] ➡ [ピクチャーモード]：MENUボタンを押し、OSDメニューの階層を移動して項目を選ぶことを示します。

商標

- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- VESAは、Video Electronics Standards Associationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-Fi、WPA、WPA2は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Apple、Safariは米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- Google、Google Chromeは、Google LLCの商標または登録商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

操作のしかた

- 4 本機のボタンやジョグダイヤルで、画質調整や入力信号の設定を行います。また、CH(チャンネル)ボタンやF(ファンクション)ボタンには、よく使う設定や機能を登録することができます。

OSDメニューの基本操作



本機の設定は、OSDメニューで変更します。

- 1 OSDメニューを開く
 - MENUボタンを押します。
- 2 メインメニューを選択する
 - ジョグダイヤルでメインメニュー項目を選択し、押して決定します。
- 3 サブメニューを選択する
 - ジョグダイヤルでサブメニュー項目を選択し、押して決定します。

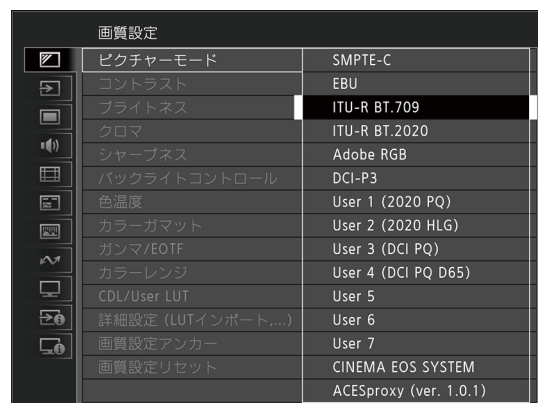
メインメニュー	サブメニュー	設定内容
画質設定		
ピクチャーモード		ITU-R BT.709
コントラスト		● ◀ ▶ ● 1000
ブライトネス		* ◀ ▶ * 0
クロマ		● ◀ ▶ ● 1000
シャープネス		● ◀ ▶ ● 0
バックライトコントロール		ローカルティミング 弱
色温度		D65
カラーガマット		ITU-R BT.709
ガンマ/EOTF		2.2
カラーレンジ		オート (リミテッド)
CDL/User LUT		オフ
詳細設定 (LUTインポート,...)		
画質設定アンカー		
画質設定リセット		

4 設定内容を選択する

- ジョグダイヤルで設定内容を選択し、押して決定します。
サブメニュー項目の選択画面に戻ります。

5 メニューを終了する

- MENUボタンを押すと、メインメニュー項目の選択画面に戻ります。もう一度、MENUボタンを押すと、メニュー画面を閉じます。



5

① メモ

- 画質を調整するときには、本機の輝度を安定させるためにウォームアップが必要です。電源を入れて、10分以上経ってから実施してください。
- OSDメニューとスライドバーは約1分間、Fボタンは約10秒間何も操作をしないと自動的に消えます。
- 設定できない項目は、グレー表示になります。
- 次の機能は、画質を調整後にRESETボタンを押すと、工場出荷時の設定またはアンカーポイント(7)に戻すことができます。
 - [コントラスト]、[ブライトネス]、[クロマ]、[シャープネス]、[Power]、[Saturation]、[Offset]、[Slope]
- [ピクチャーモード] ➡ [User 1-7]のとき：キャリブレーションを実行した場合は、画質を調整中にRESETボタンを押すと、キャリブレーション後の設定内容に戻ります。

映像全体を見ながら画質を調整する

OSDメニューを表示しているときに、画面下部にスライドバーだけを表示させ、映像全体を見ながら画質を調整できます。

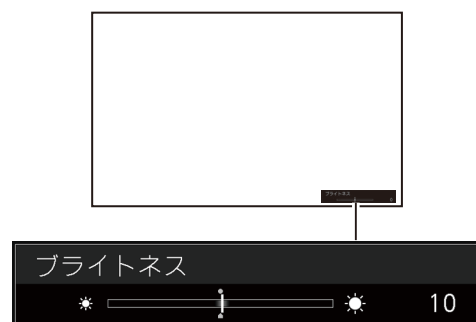
1 設定内容にフォーカスがあるときに、ジョグダイヤルを押す

- スライドバーが画面の下部に表示されます。

2 スライドバーを目安にジョグダイヤルで調整する

3 調整が終了したら、ジョグダイヤルを押す

- 元のOSDメニュー画面に戻ります。



色温度の詳細設定(ゲイン、バイアス)

[ゲイン]または[バイアス]の調整画面が表示されているときに、RGBをまとめて、または個別に調整できます。

1 [MENU] ➡ [画質設定] ➡ [色温度]を選択する

- [ゲインR]、[ゲインG]、[ゲインB]、[バイアスR]、[バイアスG]、[バイアスB]を、ジョグダイヤル(◀▶)で個別に設定できます。

2 いずれかを選択する

- [ゲイン]または[バイアス]の設定画面が表示されます。

3 スライダー画面右上のガイドをジョグダイヤル(▲▼)で切り換える

- [RGB]、[R]、[G]、[B]と表示が切り換わります。[RGB]を選択すると、RGBをまとめて調整できます。

4 調整が終了したら、ジョグダイヤルを押す

- 元のOSDメニュー画面に戻ります。



色温度の詳細設定(xy値)

1 [MENU] ➡ [画質設定] ➡ [色温度]を選択する

2 [カスタム(xy)]を選択する

- [x]、[y]を、ジョグダイヤル(◀▶)で個別に設定できます。

3 [x]または[y]を選択する

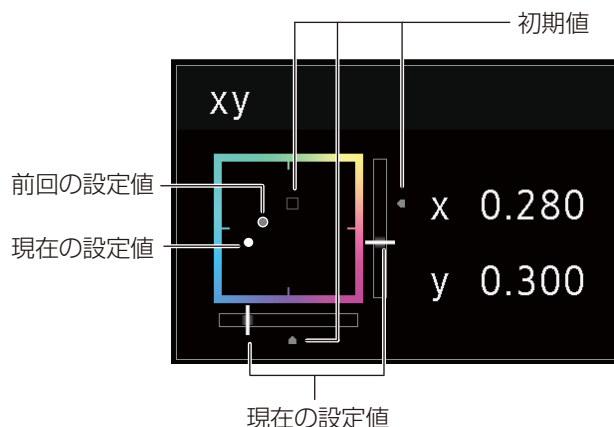
- カラーマップが表示されます。

4 [x]はジョグダイヤル(◀▶)、[y]はジョグダイヤル(▲▼)で調整する

- 設定した値がカラーマップ上に(○)で表示されます。

5 調整が終了したら、ジョグダイヤルを押す

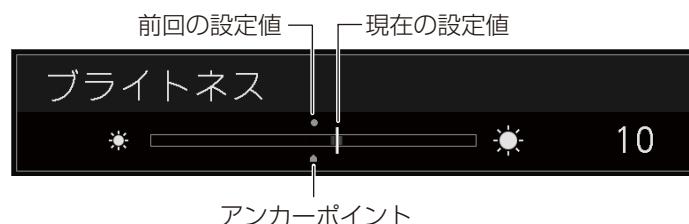
- 元のOSDメニュー画面に戻ります。



調整値を一時保存する(アンカーポイントの設定)

[コントラスト]、[ブライトネス]、[クロマ]、[シャープネス]、[HDRレンジ]の調整値を一時的に保存できます。CDL調整時のアンカーポイントの設定は 30 をご覧ください。

- 1 **[MENU]** ➡ **[画質設定]** ➡ **[画質設定アンカー]**を選択する
- 2 ジョグダイヤルを押して、確認画面が表示されたら、**[OK]**を選択する
 - 調整値が保存され、アンカーポイントが設定されます。
- 3 再度、画質を調整後、本機の**RESET**ボタンを押す
 - 各機能のアンカーポイントに戻ります。



メモ

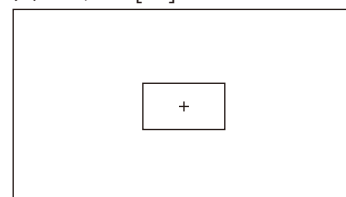
- **[画質設定]** ➡ **[画質設定リセット]**または**[システム設定]** ➡ **[全設定リセット]**を実行すると、アンカーポイントはリセットされ、工場出荷時の値に戻ります。
- キャリブレーションを実行した場合、その値がアンカーポイントとして上書きされます。

ズーム表示を調整する(47)

ズームの表示位置を変更したり、ズーム倍率(2倍、4倍、8倍)を選択できます。

- 1 **[MENU]** ➡ **[ディスプレイ設定]** ➡ **[ズーム]**を選択する
- 2 **[ズームプリセット]**を選択する
 - ズーム表示のプリセットを選択します。
- 3 **[ポジション]**を選択する
 - ズーム調整画面が表示されます。
 - 表示位置を移動する：ジョグダイヤル(▲▼◀▶ または回転)を動かす
 - 中央に戻す：RESETボタンを押す
- 4 調整が終了したら、ジョグダイヤルを押す
 - 元のOSDメニュー画面に戻ります。

ズーム 2 [x4]



メモ

- 画像がズーム表示中、OSDメニューを開いているとき
 - ジョグダイヤルを押すことで倍率を設定できます。
 - ジョグダイヤル(▲▼◀▶ または回転)を動かすことで表示位置を移動できます。
 - CHボタンで、次の機能が設定できます。
 - CH1：ズームのタイプの選択、CH2：ズームプリセット(ズーム1/ズーム2/ズーム3)の切替、CH3：ズームオフ

入力信号に応じて自動的に画質を切り換える

本機では、映像の解像度やメタデータに応じて、画質を自動で切り換えることができます。

8 【ピクチャーモード】を自動で切り換える(📖43)

- 1 **MENU** ➡ **【チャンネル設定】** ➡ **【セレクトチャンネル】**を選択する
 - チャンネルを選択します。
- 2 **MENU** ➡ **【チャンネル設定】** ➡ **【ピクチャーモード】** ➡ **【タイプ】**を選択する
- 3 ジョグダイヤルでタイプを選択する
 - 映像の解像度(4K/2K)ごとに切り換える場合
[4K/2K]を選択します。
 - 映像の解像度(4K/2K)またはメタデータに応じて切り換える場合(SDI)
[オート]を選択します。
- 4 ピクチャーモードを選択する

映像のメタデータに応じて画質の設定を切り換える(HDMI) (📖33)

- 1 **MENU** ➡ **【画質設定】** ➡ **【ピクチャーモード】** ➡ **【User 1-7】**を選択する
 - [User 1]～[User 7]のいずれかを選択します。
- 2 **MENU** ➡ **【チャンネル設定】** ➡ **【ピクチャーモード】** ➡ **【タイプ】**を選択する
 - [L/R]以外を選択します。
- 3 **MENU** ➡ **【画質設定】** ➡ **【詳細設定】** ➡ **【HDMIリンク】** ➡ **【自動設定】**を選択する
 - [オン]を選択します。
 - 設定できる内容は[HDMIリンク] (📖33)をご覧ください。

i メモ

- 映像の解像度(4K/2K)またはSDIメタデータに応じた画質の自動切替が設定されているとき、メニュー画面の右上に、選択されている対象(4K、2Kなど)を示す情報が表示されます。

Resolution: 4K




画面の右側／左側の画質を調整する(画質比較モード)

本機では、画面を左右に2分割して、画面ごとに画質を調整できます。

1 [チャンネル設定] [ピクチャーモード] [タイプ]を選択する




- [L/R]を選択します。


2 画質を調整する画面を選ぶ

- OSDメニューを開いているとき：
 - [画質設定]のメインメニューを選択時に、ジョグダイヤルの  を押します。
 - [画質設定]のメインメニューまたはサブメニューを選択時に、CH1ボタンを押します。
- OSDメニューを閉じているとき：ジョグダイヤル( )で切り換えます。
- 対象画面を切り換えると、画面上部に、設定されている[ピクチャーモード]が表示されます。

3 選んだ画面の画質を調整する

メモ

- 画質比較モード時に、[画質設定]メニュー画面の右上に、画質調整の対象画面として選択されている画面を示すアイコン(L/R)が表示されます。
- 右画面が選択されているとき、使用できない機能は次のとおりです。
 - [画質設定]のサブメニュー項目：[コントラスト]、[バックライトコントロール]、[HDR/SDR比較表示]
- 2画面表示時にも、画面ごとに画質を調整して比較表示ができます。
 - 同一映像を2画面表示したとき([1入力 Dual View]  44)
 - 異なる映像を2画面表示したとき([Multi View (Dual)]  41)
 - HDR(High Dynamic Range)表示とSDR(Standard Dynamic Range)表示を左右に並べて確認できます。([HDR/SDR比較表示]  32)

Target 

エクスポート／インポートする

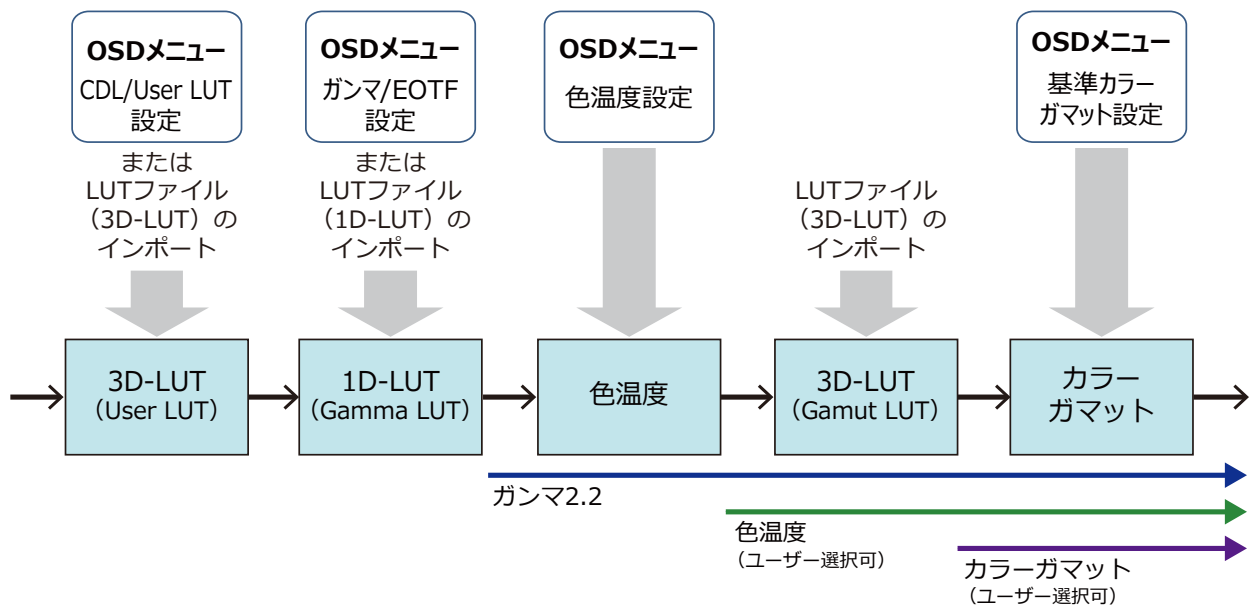
LUTやCDLの調整値、各メインメニューの設定内容をエクスポート／インポートできます。

10 LUTをインポートする(📖31)

- 1 USBメモリーを本機のUSB端子に接続する
- 2 **[MENU]** ➡ **[画質設定]** ➡ **[詳細設定]** ➡ **[LUTインポート]** を選択する
- 3 ファイルを選択する
 - [ファイル名]の箇所に、ルートフォルダー内の拡張子[.clut]を検索して表示します。
- 4 LUTのタイプを選択する
 - 「ディスプレイの画像処理とユーザー LUTの概念図」(📖11)をご参照ください。また、キヤノンのホームページにある「ユーザー LUT作成ガイド」を合わせてご覧ください。
- 5 **[LUT選択]** を選択する
- 6 基準となる色域を選択する
 - [LUTタイプ]で[Gamut LUT]を選択した場合に、LUT作成時に使用した色域を選択します。
- 7 **[実行]** を選択する
 - 確認画面が表示されたら**[OK]**を選択します。インポートを開始します。

i メモ

- LUTのファイルは、キヤノンディスプレイ独自のものです。ファイルフォーマットや作成のしかたなどについては、キヤノンのホームページでご確認ください。
- LUTのインポートファイルは、最大1000個まで認識します。
- インポートしたLUTは消去できます。LUT名を変えることもできます(📖31)。



ディスプレイの画像処理とユーザー LUT の概念図

メインメニューの設定内容をエクスポート／インポートする(78)

1 **[MENU]** ➡ **[システム設定]** ➡ **[エクスポート／インポート]** を選択する

2 **[エクスポート]** または **[インポート]** を選択する

エクスポートの場合

- ① **[ターゲット]** を **[USB]**、**[User 1-3]** または **[LAN]** から選択する
[USB] は USB メモリーに、**[User 1]～[User 3]** は本体内のメモリーに、エクスポートします。**[LAN]** は、LAN 接続したディスプレイにエクスポートします。
- ② **[USB]** または **[User 1-3]** を選択時：**[ファイル名]** を選択する
 - 工場出荷時の初期値は **[dinfo_dpv3120.dat]** です。USB メモリーにエクスポートするファイル名は半角英数記号 16 文字以内で変更できます。**[LAN]** を選択時：**[ディスプレイ]** を選択する
 - LAN 接続したディスプレイの中から、設定内容をエクスポートするディスプレイを選択します。

インポートの場合

- ① **[ターゲット]** を **[USB]** または **[User 1]～[User 3]** から選択する
インポートするファイルの保存先を指定します。
- ② **[USB]** を選択時、**[ファイル名]** を選択する
- ③ **[設定種別]** から **[すべて]** またはメインメニュー名を選択する

3 **[実行]** を選択する

- 確認画面が表示されたら **[OK]** を選択します。エクスポート／インポートを開始します。

メモ

- [User 1]～[User 3]にエクスポートすると、[システム設定]の[パワーオン設定]で、起動時の設定状態を[User 1]～[User 3]から選択できます(📖78)。
- 本機の設定内容を他のキヤノン製ディスプレイにエクスポートするとき：
 - 設定内容や設定範囲が異なる機能がある機種の場合、正しくエクスポートされない設定があります(設定が変更されない、初期設定になる、など)。
 - エクスポートが完了すると、エクスポート先のディスプレイにメッセージが表示されます。

CDLの調整値をエクスポート／インポートする(📖30)

1  ➡ [画質設定] ➡ [CDL/User LUT]を選択する

2 [CDL 1-8]を選択する

3 [詳細設定] ➡ [CDLエクスポート]または[CDLインポート]を選択する

エクスポートの場合

- ① [CDLプリセット]を選択する
- ② ファイル形式[.ccc]または[.cdl]を選択する

インポートの場合

- ① [ファイル名]を選択する
- ② [CDLプリセット]を選択する

4 [実行]を選択する

- 確認画面が表示されたら[OK]を選択します。エクスポート／インポートを開始します。

メモ

- エクスポート時のファイル名は、「YYYYMMDDhhmmss_プリセット名.ccc (cdl)」で自動的に保存されます。
- CDLのインポートファイルは、最大1000個まで認識します。

日時を設定する(📖 75)

日時の設定のしかたを説明します。本機は、約20日間電源コードが接続されないと、日時がリセットされます。

1 [MENU] ➡ [システム設定] ➡ [日時]を選択する

- 日時を入力する画面が表示されます。

2 日時を設定する

- ジョグダイヤルでフォーカスを移動させたり、数値を選択します。年／月／日／時／分すべてを入力するまで、繰り返します。

3 すべての入力終了したら、ジョグダイヤルを押す

- フォーカスが[OK]に移動します。

4 内容を確認し、正しければジョグダイヤルを押す



参考

- [キャンセル]を選択、または[OK]を選択する前にMENUボタンを押すと、設定値をリセットし1つ前の画面に戻ります。

文字を入力する

文字の入力のしかたを説明します。

1 文字入力画面が表示されたら、入力したい場所をジョグダイヤル(◀▶)で選択する

2 ジョグダイヤル(▲▼ または回転)で文字を選択する

- 入力できる文字は次のとおりです。▲▼ を押し続けると順番に表示されます。

英数(半角): A～Z、a～z、0～9

記号(半角): , . : ; ` ` - + / = % & ! ? # _ | \$ ^ ~ @ { } [] < > () スペース

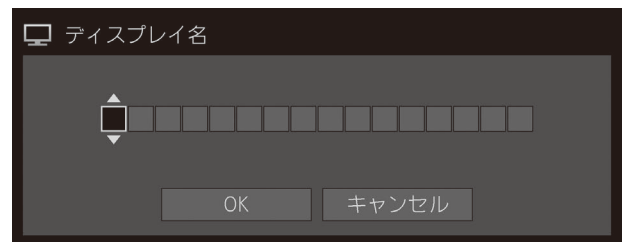
- 入力できない文字は、自動でスキップします。

3 入力したい内容が終了するまで、手順1、2を繰り返す

4 すべての入力終了したら、ジョグダイヤルを押す

- フォーカスが[OK]に移動します。

5 内容を確認し、正しければジョグダイヤルを押す



参考

- [キャンセル]を選択、または[OK]を選択する前にMENUボタンを押すと、設定値をリセットし1つ前の画面に戻ります。
- 本機のRESETボタンを押すと、フォーカスされている文字を消去したり、入力内容をリセットできます。

ファンクション(F)ボタンを使う

本機のFボタンに機能を登録し、ワンタッチで実行できます。Fボタンには、通常モードとCDLモードごとに、異なる機能を割り当てることができます。

- 1 **[MENU] ➡ [システム設定] ➡ [ファンクション／チャンネルボタン] ➡ [ディスプレイファンクション] または [ディスプレイファンクション(CDL)] を選択する**
 - ボタンの選択画面が表示されます。
- 2 **ボタン名を選択し、ジョグダイヤルを押す**
- 3 **登録したい機能を選択する**
 - 設定できる機能は「ディスプレイのFボタンに登録できる機能(80)」をご覧ください。
- 4 **ジョグダイヤルを押す**
 - 設定内容が決定されます。

工場出荷時、本機の名Fボタンには、次の内容が登録されています。

Fボタン	通常モード時	CDLモード時
F1	ピクチャーモード	CDL/User LUT
F2	ブライトネス	CDL SOP/SAT
F3	TC/ALM	CDL/User LUTバイパス
F4	WFM/VEC	1入力Dual View
F5	ヒストグラム/フレーム輝度	フォルスカラー
F6	ピクセル値チェック	オーバーレンジ
F7	ズームプリセット	2020 色域外表示
F8	フレームホールド	比較表示

参考

- Fボタンを長押しすると、機能の選択画面が表示され、登録したい機能を設定できます。
- 本機のFボタンに登録されている機能を確認できます。


[MENU] ➡ [システム設定] ➡ [OSD設定] ➡ [ファンクションボタンガイド]メニューを開き、**[オン]**を選択します。OSD非表示中にジョグダイヤルを押す／動かす(▲▼◀▶または回転)と、機能一覧が表示されます。機能一覧から機能を選び、ジョグダイヤルを押す／動かす(▶)と、詳細な設定画面が表示される、または機能が実行されます。


チャンネル(CH)ボタンを使う

本機のCHボタンにチャンネル(入力信号に関する各種設定)を登録し、ワンタッチでチャンネルを切り換えることができます。

- 1 **[MENU] ➡ [システム設定] ➡ [ファンクション／チャンネルボタン] ➡ [ディスプレイチャンネル]を選択する**
 - ボタンの選択画面が表示されます。
- 2 **ボタン名を選択し、ジョグダイヤルを押す**
- 3 **登録したいチャンネルを選択する**
 - 設定できる内容は[チャンネル設定] (📖 41)をご覧ください。
- 4 **ジョグダイヤルを押す**
 - 設定内容が決定されます。

工場出荷時、本機の各CHボタンと各チャンネルには、次の内容が登録されています。

CH	CH1	CH2	CH3	CH4	CH5
入力設定	12-3G/HD-SDI	HDMI	3G-SDI RAW	12-3G/HD-SDI	12-3G/HD-SDI
入力信号選択	オート	オート	オート	オート	オート
Image Division	オート	オート	オート	オート	オート
Link Order	オート	オート	オート	オート	オート
フォーマット	オート	オート	オート	オート	オート
音声端子	オート	オート	オート	オート	オート
Marker/TC/CameraInfo端子	Input A	Input A	Input A	Input A	Input A
インターナルシンク	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
チャンネル名	(空欄)	(空欄)	(空欄)	(空欄)	(空欄)
ピクチャーモード  タイプ	ノーマル	ノーマル	ノーマル	4K/2K	L/R
ピクチャーモード ピクチャーモード L Resolution 4K	ITU-R BT.709	ITU-R BT.709	CINEMA EOS SYSTEM	User 1 (2020 PQ)	User 1 (2020 PQ)
ピクチャーモード R Resolution 2K	ITU-R BT.709				
Payload	UHD/PQ	User 1 (2020 PQ)			
	UHD/HLG	User 2 (2020 HLG)			
	UHD	ITU-R BT.2020			
	709/PQ	—			
	709/HLG	—			
	709	ITU-R BT.709			
	VANC	—			
	Unknown	—			
	CINEMA EOS SYSTEM	CINEMA EOS SYSTEM			
Camera	ARRI	User 6			
	VARICAM	User 7			
1入力 Dual View	オフ	オフ	オフ	オート	オフ
セパレーター	オフ	オフ	オフ	オフ	ホワイト

CH	CH6	CH7	CH8	CH9	CH10～CH20
入力設定	12-3G/HD-SDI	12-3G/HD-SDI	12-3G/HD-SDI	12-3G/HD-SDI	—(未設定)
入力信号選択	オート	オート	オート	オート	オート
Image Division	オート	オート	オート	オート	オート
Link Order	オート	オート	オート	オート	オート
フォーマット	オート	オート	オート	オート	オート
音声端子	オート	オート	オート	オート	オート
Marker/TC/CameraInfo端子	Input A	Input A	Input A	Input A	Input A
インターナルシンク	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
チャンネル名	(空欄)	(空欄)	(空欄)	(空欄)	(空欄)
ピクチャーモード  タイプ	L/R	4K/2K	L/R	L/R	ノーマル
ピクチャーモード	User 1	User 2	User 2	User 2	ITU-R BT.709
ピクチャーモード L	(2020 PQ)	(2020 HLG)	(2020 HLG)	(2020 HLG)	
Resolution 4K					
ピクチャーモード R	ITU-R BT.709				
Resolution 2K					
Payload	UHD/PQ	User 1 (2020 PQ)			
	UHD/HLG	User 2 (2020 HLG)			
	UHD	ITU-R BT.2020			
	709/PQ	—			
	709/HLG	—			
	709	ITU-R BT.709			
	VANC	—			
	Unknown	—			
Camera	CINEMA EOS SYSTEM	CINEMA EOS SYSTEM			
	ARRI	User 6			
	VARICAM	User 7			
1入力 Dual View	オート	オート	オフ	オート	オフ
セパレーター	オフ	オフ	ホワイト	オフ	オフ

メモ

- CHボタンを長押しすると、チャンネルリストが表示され、チャンネルを選択できます。また、12G-SDI/6G-SDI信号のみを入力時、または12G-SDI/6G-SDI信号と同時表示が可能な映像を入力時、[入力信号選択]が[オート]の場合は、入力信号リストが表示され、一時的に信号を切り換えることができます。

信号情報や本機の状態を確認する

本機にはバナーを表示する機能があります。

- 1 OSDメニューを閉じているときに、ジョグダイヤルを押す
- バナーにチャンネル名や信号情報、本機の状態が表示されます。6秒後に自動的に消えます。

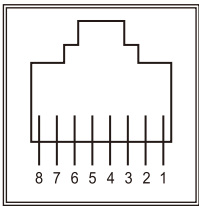
メモ

- バナーの表示方法を設定できます。(76)
[MENU] ➡ [システム設定] ➡ [OSD設定] ➡ [バナー]
- 入力信号の状態を監視できます。(62)
[MENU] ➡ [ファンクション設定] ➡ [シグナルモニタリング]
- 詳細な信号情報を確認したい場合には、[シグナルインフォメーション] (82)をご覧ください。
- 入力信号が同期するまでは[同期検出中]というバナーが表示されます。

外部機器を使って本機を操作する [REMOTE端子(GPI)]

REMOTE端子に接続した外部機器から操作して、各ピンに登録した機能を実行できます。外部機器からの操作は、本機の電源が入っているときに行います。

REMOTE端子のピン配列

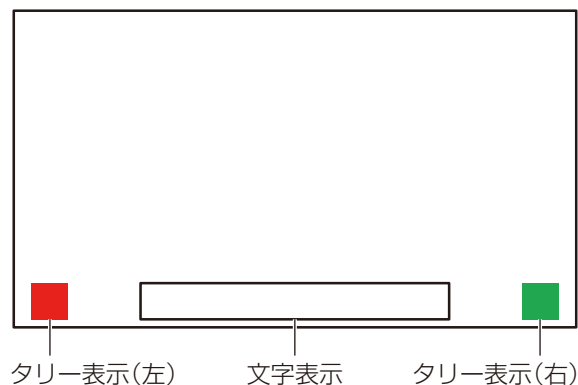


ピン番号	信号	工場出荷時の設定内容	
1	Pin1	CH1	
2	Pin2	CH2	
3	Pin3	CH3	
4	Pin4	タイムコード	
5	Pin5	タリー グリーン	タリーは、画面上部に表示されます。
6	Pin6	タリー レッド	
7	Pin7	電源オン	
8	Pin8 (GND)	—	

- 1 外部制御機器をREMOTE端子に接続する
- 2 [MENU] ➡ [システム設定] ➡ [リモート(GPI)]を選択する
- ピンの選択画面が表示されます。
- 3 ピン番号を選択し、ジョグダイヤルを押す
- 4 登録したい機能を選択する
- 設定できる機能は[リモート(GPI)] (75)をご覧ください。
- 5 ジョグダイヤルを押す
- 設定内容が決定されます。

外部機器を使って本機を操作する [LAN端子]

本機は、Television Systems Ltd社の「TSL UMD Protocol Ver. 5.0」に対応しています。LAN端子に接続した外部機器から操作して、画面上に文字とタリーを表示できます。タリーは、左右に2カ所あります。文字は、16文字まで表示できます。



- 1 外部制御機器をLAN端子に接続する
- 2 TSLプロトコルの設定で、[SCREEN]と[INDEX]を[0x0000]にする
- 3 **[MENU]** ➡ **[ネットワーク/IMD設定]** ➡ **[インモニターディスプレイ(IMD)]**を選択する
- 4 **[コントロール]** ➡ **[TSL Ver. 5.00]**を選択する
 - 外部制御機器からの操作が可能になり、文字とタリーを表示できる状態になります。
- 5 **[ポジション]** ➡ **[上]**または**[下]**を選択する
 - 文字とタリーの表示位置を設定します。

i メモ

- [Multi View (Dual)]または[Multi View (Quad)]表示時、[INDEX]の設定を[0x0001]～[0x0004]にしてください。
- 制御するポート番号は、「45000」固定です。
- [インモニターディスプレイ(IMD)]では、本機でユーザーが指定した文字を画面に表示することもできます。(74)

外部機器を使って本機を操作する [USB端子：Wi-Fi接続]

本機は、USB端子にWi-Fiアダプターを接続し、お使いのWi-Fiネットワーク環境で携帯端末などと接続できます。接続方式は、次の2つから選択します。

インフラストラクチャー：アクセスポイントを介してWi-Fiに接続する方式です。

アクセスポイント：本機がアクセスポイントの働きをして、Wi-Fi機器と直接接続する方式です。

- IPアドレスやサブネットマスクなどのネットワーク設定は、自動で取得します。
- 対応暗号化方式
インフラストラクチャー：WEP64(ASCII)、WEP128(ASCII)、WPA-TKIP、WPA-AES(CCMP)、WPA2-TKIP、WPA2-AES(CCMP)
アクセスポイント：WPA2-AES(CCMP)

！ ご注意

- ネットワーク機能を使用するためにネットワークに対して誤った設定を行った結果生じた損害、および本機能を使用した結果生じた損害については、弊社ではその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- セキュリティで保護されていないWi-Fiやネットワーク環境に接続することは避けてください。アクセスポイントを設定するときは、パスワードの初期設定を変更してください。お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。Wi-Fiを使用しないときは、[Wi-Fi] ➡ [コントロール]の設定を[オフ]にしてください。
- Wi-Fiへの接続方法については、お使いのWi-Fiネットワーク環境によって仕様や制限事項が異なります。
- 本機は、お使いのWi-Fiアダプターの機能を保証するものではありません。Wi-Fiアダプターに関する不具合は、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。また、Wi-Fiアダプターの使用には、多くの国や地域で認可が必要であり、認可を取得していないものの使用は認められていません。使用が認められているかがご不明な場合は、お使いの機器のメーカーにご確認ください。

i メモ

- 動作確認済み機器(Wi-Fiアダプター)については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。
- Wi-Fiアダプターの使いかたや使用上のご注意、接続先のアクセスポイントの設定方法などについては、お使いの機器の使用説明書をご参照いただくか、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。
- 本機に表示できる選択可能なアクセスポイントは、最大24台です。

1 Wi-FiアダプターをUSB端子に接続する

2 [ネットワーク/IMD設定] ➡ [Wi-Fi]を選択する

[インフラストラクチャー]方式の場合

3 [コントロール] ➡ [インフラストラクチャー]を選択する

4 接続するアクセスポイントを設定する

5 (使用するアクセスポイントへの接続時にパスワードの入力が必要な場合)パスワードを入力する(📖 73)

- 半角英数字記号24文字以内で設定します。入力できる文字は、次のとおりです。

英数(半角)：A～Z、a～z、0～9

記号(半角)：_、-

[アクセスポイント]方式の場合

3 [コントロール] ➤ [オフ]を選択する

4 [アクセスポイント]を選択する(📖 73)

- SSIDを入力します。半角英数字記号24文字以内で設定します。
- 通信モードを設定します。
- チャンネルを設定します。
- パスワードを入力します。半角英数字記号8文字以上、24文字以内で設定します。
- [SSID]、[パスワード]: 入力できる文字は、次のとおりです。

英数(半角): A～Z、a～z、0～9

記号(半角): _、-

5 [コントロール] ➤ [アクセスポイント]を選択する

Webブラウザを使って本機をリモート操作する

LAN端子に接続したコンピューター端末や、USB端子に接続したWi-Fiアダプターを介して接続した携帯端末など(図20)で、Webブラウザを使って、本機をリモートで操作します。ネットワーク接続した機器から、画質の設定を変更したり、チャンネルを切り換えたりすることができます。

本機能は、下記のWebブラウザを使用して動作を確認しています。

- Apple社のSafari
- Google社のGoogle Chrome

* すべての対応OS とWebブラウザのバージョンで動作を保証するものではありません。

！ ご注意

- 本機能を使用するときは、ユーザー IDとパスワードの初期設定を変更してください。

i メモ

- 1つの端末からのみアクセスが可能です。
- LANとWi-Fiを使用して同時にアクセスすると、正しく動作しないことがあります。
- Webブラウザの複数のタブでページを開くと、正しく動作しないことがあります。
- [View]画面で[Capture]を実行すると、本機の映像が一時的に静止することがあります。
- Webブラウザを使ってリモート操作中に本体を操作すると、ネットワーク接続が中断されることがあります。
- ネットワーク環境や通信状態によっては、映像表示や各種設定などに遅延が発生することがあります。
- IPアドレスは、[システムインフォメーション]画面で確認できます。
- 操作画面は、英語表記のみです。

1 外部制御機器とネットワーク接続をする

2 [ネットワーク/IMD設定] [Web]を選択する

3 [コントロール] [オン]を選択する

4 [ユーザー ID]と[パスワード]を設定する(図 73)

- [ユーザーID]: ユーザーIDを入力します。半角英数字記号16文字以内で設定します。
[パスワード]: パスワードを入力します。半角英数字記号8文字以上、16文字以内で設定します。
入力できる文字は、次のとおりです。
英数(半角): A～Z、a～z、0～9
記号(半角): _、-

5 ネットワーク接続をした機器でWebブラウザを起動する

6 アドレスバーに本機のIPアドレスを入力する

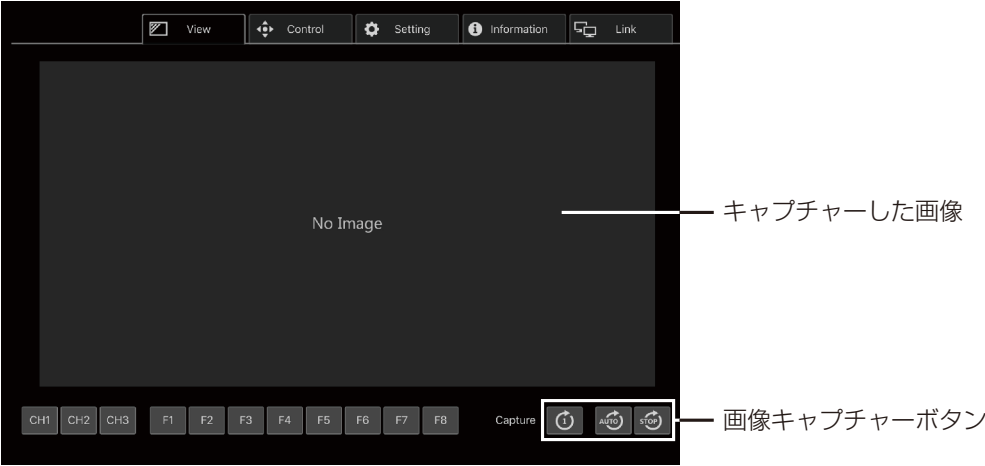
- Webブラウザ上に、リモート操作画面が表示されます。
- ベーシック認証画面が表示されたら、ユーザー IDとパスワードを入力します。

7 操作が終了したら、Webブラウザを閉じる

■ 操作画面

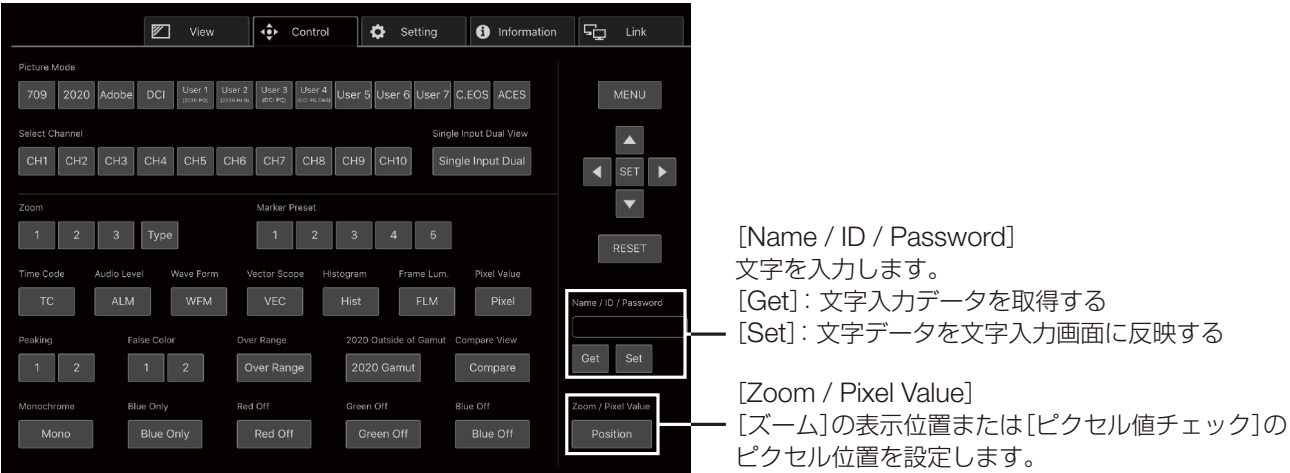
[View] 画面

画像キャプチャーボタンを押すと、キャプチャーした画像が表示されます。また、CHボタンとFボタンの操作ができます。



[Control] 画面

ピクチャーモードやチャンネル、各種マーカーの表示などを設定できます。



[Name / ID / Password]

文字を入力します。

[Get]：文字入力データを取得する

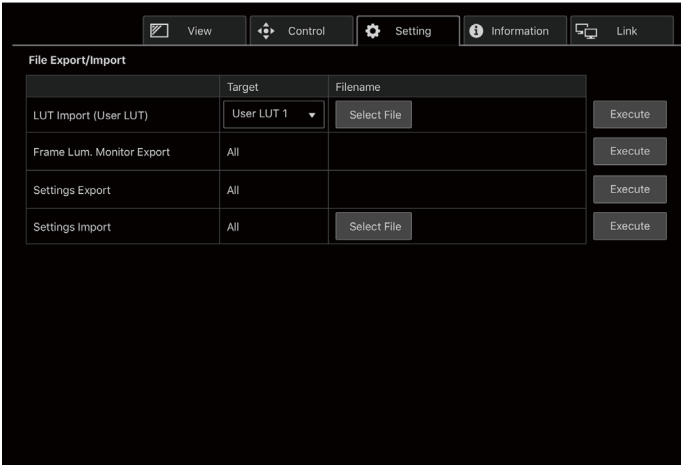
[Set]：文字データを文字入力画面に反映する

[Zoom / Pixel Value]

[ズーム]の表示位置または[ピクセル値チェック]のピクセル位置を設定します。

[Setting] 画面

LUTのインポートや、[フレーム輝度モニター]のエクスポート、本機の設定のインポート/エクスポートの操作ができます。



[LUT Import (User LUT)]

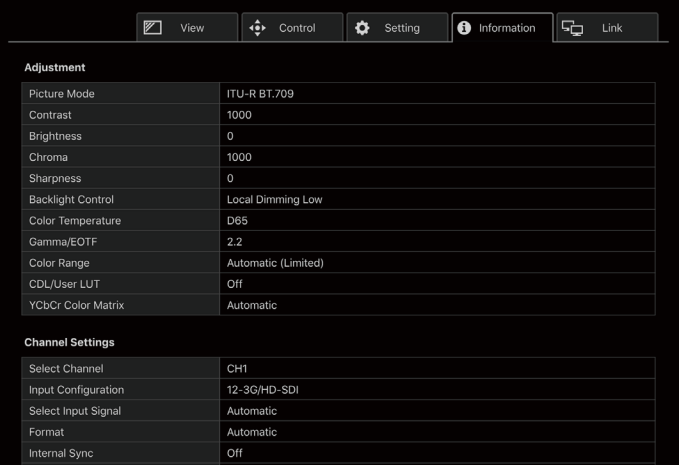
LUTをインポートします。LUTのインポートが完了すると、現在の[ピクチャーモード]の[CDL/User LUT]に、インポートしたLUTが設定されます。

[Frame Lum. Monitor Export]

[フレーム輝度モニター]をエクスポートします。[フレーム輝度モニター]のエクスポートでは、最終シーンの輝度情報「latest.csv」と取得したすべての輝度情報「all.tar.gz (tar.gz形式で圧縮されたファイル)」が作成されます。

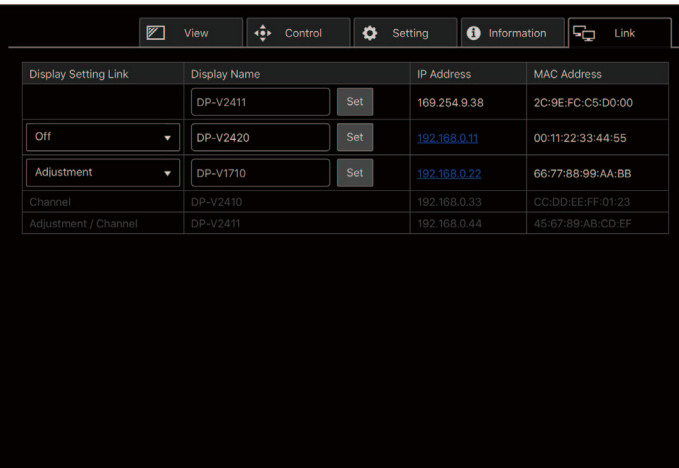
[Information]画面

[画質設定]と[チャンネル設定]の各設定内容、[シグナルインフォメーション]、[システムインフォメーション]の情報を表示します。



[Link]画面



本機とLAN接続されたディスプレイの一覧表示や、[ディスプレイ設定連動]の設定、ディスプレイ名の変更ができます。



画質設定

画質を調整するときに使うメニューです。工場出荷時の設定内容は、[ピクチャーモード]によって異なります(38)。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ピクチャーモード	SMPTE-C EBU ITU-R BT.709 ITU-R BT.2020 Adobe RGB DCI-P3 User 1 (2020 PQ)、 User 2 (2020 HLG)、 User 3 (DCI PQ)、 User 4 (DCI PQ D65)、 User 5 ~ User 7 CINEMA EOS SYSTEM ACESproxy(ver. 1.0.1) ¹	プリセットモードを選択します。 [SMPTE-C]、[EBU]、[ITU-R BT.709]、[ITU-R BT.2020]、 [Adobe RGB]、[DCI-P3]：各規格の輝度、色温度、ガンマ/EOTF、 3原色色度点の色域に設定されたモードです。 [User 1~7] (User 1 (2020 PQ)、User 2 (2020 HLG)、User 3 (DCI PQ)、User 4 (DCI PQ D65)、User 5 ~ User 7)：[画質設定]にある 各項目をそれぞれ設定できるモードです。モード名は半角英数記号 24文字以内で変更できます(33)。 [CINEMA EOS SYSTEM]：CINEMA EOS SYSTEMカメラで撮影 した映像を表示するときに最適なモードです。カメラリンク機能 で、画質設定を自動的に切り換えます([自動画質設定(CINEMA EOS)] 63)。 [ACESproxy(ver. 1.0.1)]：ACESproxyの映像を、ガンマ/EOTF、色 域を最適にして表示するモードです。
コントラスト ²	0 ~ 20000	画像の白レベルを調整します。(1刻み)
ブライトネス	-500 ~ 500(0)	画像の黒レベルを調整します。(1刻み)
クロマ ³	0 ~ 2000(1000)	画像の彩度(色の濃さ)を調整します。(1刻み)
シャープネス	0 ~ 100(0)	画像の鮮明さを調整します。(1刻み)
バックライトコントロー ル ⁴	ローカルディミング オート ローカルディミング 強 ローカルディミング 弱 オフ	バックライトの制御方法を切り換えます。 ローカルディミングは、バックライトの発光量をエリアごとに制御す る技術です。表示するコンテンツに合わせて、画像の明るい部分はバッ クライトを明るくし、暗い部分はバックライトを暗くします。 [オート]：HDR映像の確認に適したモードです。 [強]：明るい部分が多い画像の確認に適したモードです。 [弱]：SDR映像の確認に適したモードです。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
色温度 ⁵	D93、D65、 D65 Custom、D61、 D60、D56、D50、 DCI-P3 カスタム(xy)、オフ • プリセットを選択時 ゲインR/G/B： 0～ 1023 バイアスR/G/B： -500～500(0) • カスタム(xy)を選択時 x：0.260～0.360 y：0.260～0.360	色温度を設定します。( 6) [D93]、[D65]、[D61]、[D60]、[D56]、[D50]、[DCI-P3]：プリセットの色温度を選択します。 [D65 Custom]：本機と表示特性の異なるディスプレイとの色調整用プリセットです。D65を基準にして、ゲインとバイアスを調整します。 [ゲインR/G/B]、[バイアスR/G/B]：プリセットの色温度を調整します。(1刻み) [カスタム(xy)]：CIE x, y で調整します。(0.001刻み)
カラーガマット ⁶	SMPTE-C EBU ITU-R BT.709 ITU-R BT.2020 Adobe RGB DCI-P3 Native Cinema Gamut to 709 Cinema Gamut to 2020 Cinema Gamut to DCI DCI-P3+ to 709 DCI-P3+ to DCI S-Gamut3 to 709 S-Gamut3 to 2020 S-Gamut3 to DCI S-Gamut3.Cine to 709 S-Gamut3.Cine to 2020 S-Gamut3.Cine to DCI Gamut LUT 1～ Gamut LUT 8	色域を設定します。 [ピクチャーモード]  [User 1-7]または[CINEMA EOS SYSTEM]のとき [SMPTE-C]、[EBU]、[ITU-R BT.709]、[ITU-R BT.2020]、[Adobe RGB]、[DCI-P3]：各基準に準拠した色域です。 [Native]：本機で表現可能な色域です。 [Cinema Gamut to 709]、[Cinema Gamut to 2020]、[Cinema Gamut to DCI]、[DCI-P3+ to 709]、[DCI-P3+ to DCI]：CINEMA EOS SYSTEMカメラで撮影したCinema Gamut、DCI-P3+の映像をモニタリングするために、色域を変換するモードです。 [S-Gamut3 to 709]、[S-Gamut3 to 2020]、[S-Gamut3 to DCI]、[S-Gamut3.Cine to 709]、[S-Gamut3.Cine to 2020]、[S-Gamut3.Cine to DCI]：色域を変換するプリセットモードです。 [Gamut LUT 1]～[Gamut LUT 8]：外部のLUTを選択します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)
ガンマ/EOTF ⁷	<p>1.0、2.2、2.35、2.4、2.6、 ITU-R BT.1886、 SMPTE ST 2084 (PQ)、 Hybrid Log-Gamma、 Hybrid Log-Gamma RGB Canon Log、 Canon Log (HDR)、 Canon Log 2、 Canon Log 2 (HDR)、 Canon Log 3、 Canon Log 3 (HDR)、 S-Log2 (HDR) S-Log3 (HDR) Gamma LUT 1 ~ Gamma LUT 8 オフ</p> <p>ガンマ/EOTFを設定します。</p> <p>[1.0]、[2.2]、[2.35]、[2.4]、[2.6]、[ITU-R BT.1886]、[Canon Log]、 [Canon Log 2]、[Canon Log 3]、[S-Log2 (HDR)]、 [S-Log3 (HDR)]：プリセットのガンマを選択します。</p> <p>[SMPTE ST 2084 (PQ)]、[Hybrid Log-Gamma]、 [Hybrid Log-Gamma RGB]、[Canon Log (HDR)]、 [Canon Log 2 (HDR)]、[Canon Log 3 (HDR)]：HDR表示用のガン マ/EOTFを選択します。</p> <p>[Gamma LUT 1]～[Gamma LUT 8]：外部のLUTを選択します。</p> <p>※[Hybrid Log-Gamma]について 本機では、下記の2方式に対応しています。</p> <p>[Hybrid Log-Gamma]：Y信号に対して、システムガンマ処理を行う 方式(ITU-R BT.2100準拠)</p> <p>[Hybrid Log-Gamma RGB]：RGB信号に対して、システムガンマ処 理を行う方式</p> <p>[Hybrid Log-Gamma]の場合、メニュー画面の[設定内容]に、システ ムガンマ値が表示されます。</p>

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
HDRレンジ	HDR表示用ガンマ/EOTFを選択時の表示方法を設定します。	
SMPTE ST 2084 (PQ)	100 ~ 10000 (2000)	[SMPTE ST 2084 (PQ)]が持つ0.005 ~ 10,000 cd/m ² (nits)のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100 ~ 4000 : 100刻み。4000 ~ 10000 : 1000刻み)
Hybrid Log-Gamma	100 ~ 1000	[Hybrid Log-Gamma]が持つダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み) 上限値は、[Hybrid Log-Gamma System]の設定内容に応じて変わります。(32)
Hybrid Log-Gamma RGB	100 ~ 1000 /2000	
Canon Log (HDR)	100 ~ 800	[Canon Log]が持つ0 ~ 800%のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み)
Canon Log 2 (HDR)	100 ~ 1600	[Canon Log 2]が持つ0 ~ 1600%のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み)
Canon Log 3 (HDR)	100 ~ 1600	[Canon Log 3]が持つ0 ~ 1600%のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み)
S-Log2 (HDR)	100 ~ 1400(1000)	[S-Log]のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み)
S-Log3 (HDR)	100 ~ 3900(1000)	
Gamma LUT 1 ~ Gamma LUT 8	512 ~ 1023	LUTデータの10-bit (0 ~ 1023)のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(1刻み)

※設定のしかた

[SMPTE ST 2084(PQ)]を例にとって説明します。

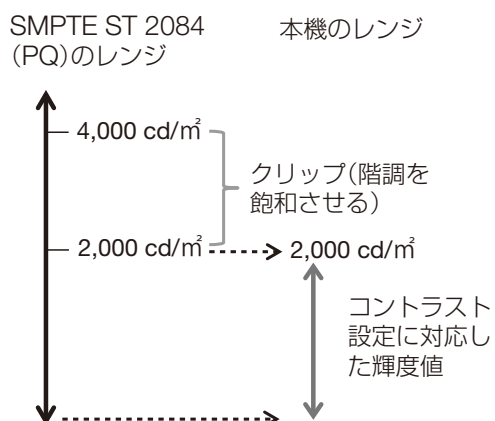
「2000」に設定すると、2,000 cd/m²を超える部分はクリップし、2,000 cd/m²以下を本機のダイナミックレンジに割り付けて表示します。PQ 2,000 cd/m²の映像を表示する場合に、映像のもつダイナミックレンジすべてを確認できます。また、PQ 4,000 cd/m²の映像を表示する場合は、2,000 cd/m²までの映像が確認できます。

「4000」に設定すると、4,000 cd/m²を超える部分はクリップし、4,000 cd/m²以下を本機のダイナミックレンジに割り付けて表示します。PQ 4,000 cd/m²の映像を表示する場合に、見た目の明るさは低下しますが、映像のもつダイナミックレンジすべてを確認できます。

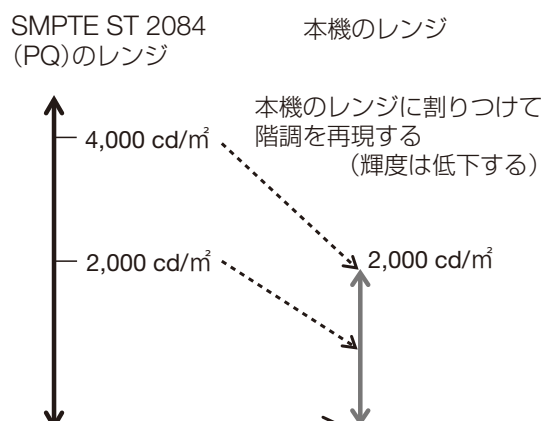
本機の表示輝度は、コントラスト設定値に対応した明るさになります。

SMPTE ST 2084(PQ)の4,000 cd/m²の信号 (コントラスト : [20000])

SMPTE ST 2084(PQ) : [2000] に設定



SMPTE ST 2084(PQ) : [4000] に設定



サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
カラーレンジ ⁸	オート フル SDIフル(4-1019) リミテッド	量子化レンジを設定します。 [オート]：信号情報から自動的にレンジを設定します。
Input Transform	オート オフ	[ピクチャーモード] ➤ [ACESproxy (ver. 1.0.1)]のとき [3G-SDI RAW]の信号に(📺41)、ACES Input Transformを適用するかを設定します。 [オート]：自動で適用します。 [オフ]：適用しません。
Output Transform	ITU-R BT.709 ITU-R BT.2020 DCI-P3	[ピクチャーモード] ➤ [ACESproxy (ver. 1.0.1)]のとき [ガンマ/EOTF]、[カラーガマット]に代わって表示されます。 [ITU-R BT.709]、[ITU-R BT.2020]、[DCI-P3]：ACESproxyをそれぞれのモードに変換します。
Output Transform Surround	Dim Surround Dark Surround	[ピクチャーモード] ➤ [ACESproxy (ver. 1.0.1)]のとき [ガンマ/EOTF]、[カラーガマット]に代わって表示されます。 [Dim Surround]：ACESproxyで規定されているDim Surround処理を有効にします。 [Dark Surround]：ACESproxyで規定されているDark Surround処理を有効にします。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
CDL/User LUT ⁹	CDLまたはUser LUTの各種設定をします。	
CDL/User LUT	CDL 1 ～ CDL 8 User LUT 1 ～ User LUT 8 オフ [ピクチャーモード] ➡ [User 1-7]のときのみ ARRI (Rec2100-PQ-1K-100) ARRI (Rec2100-HLG-1K-200) VARICAM (V-Log to V-709) 2020 PQ to 2020 SDR 2020 PQ to 709 SDR 2020 HLG to 709 HLG 2020 HLG to 709 SDR	CDLや外部のLUTなどのプリセットを選択します。
Power	0.50 ～ 4.00 (1.00)	画像のガンマを調整します。(0.01刻み)
Saturation	0.000 ～ 2.000 (1.000)	画像の彩度を調整します。(0.001刻み)
Offset	-1.000 ～ 1.000 (0.000)	画像の黒レベルを調整します。(0.001刻み)
Slope	0.000 ～ 2.000 (1.000)	画像の白レベルを調整します。(0.001刻み)
CDL/User LUTパイパス	オン、 オフ	[CDL] : [オン]にすると、CDLでの調整結果を一時的に無効にし、調整前の画質に戻すことができます。 [User LUT] : [オン]にすると、User LUTを適用する前の画質に戻すことができます。
詳細設定		
CDLエクスポート		CDLでの調整値をエクスポートします。
CDLプリセット	CDL 1 ～ CDL 8 すべて	
ファイル形式	CCC CDL	
実行		
CDLインポート		CDLでの調整値をインポートします。
ファイル名		
CDLプリセット	CDL 1 ～ CDL 8	
実行		
CDLプリセット名		半角英数字記号16文字以内で、プリセットモードの名称を設定できます。
CDLアンカー		[Power]、[Saturation]、[Offset]、[Slope]の各調整値を一時的に保存して、その値に戻すことができます。(アンカーポイントの設定)
CDLリセット		CDLでの調整値をリセットします。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
詳細設定 ➤	ピクチャーモードの詳細な設定をします。	
LUTインポート	LUTのインポートができます。インポートできるファイルの名称は、英数字記号(半角)で48文字までです(拡張子を含む)。	
ファイル名		ファイル名を選択します。
LUTタイプ	User LUT Gamma LUT Gamut LUT	LUTの種類を選択します。
LUT選択	User LUT 1～8 Gamma LUT 1～8 Gamut LUT 1～8	
基準カラーガマット	SMPTE-C EBU ITU-R BT.709 Adobe RGB DCI-P3 Native	[LUTタイプ] ➤ [Gamut LUT]のとき LUT作成時に使用した色域を選択します。
実行		インポートを実行します。
LUT名	半角英数字記号24文字以内で、LUTの名称を設定できます。	
LUTタイプ	User LUT Gamma LUT Gamut LUT	LUTの種類を選択します。
LUT選択	User LUT 1～8 Gamma LUT 1～8 Gamut LUT 1～8	
名称入力		LUTの名称を入力します。
LUT消去	インポートしたLUTを消去します。	
LUTタイプ	User LUT Gamma LUT Gamut LUT	LUTの種類を選択します。
LUT選択	User LUT 1～8 Gamma LUT 1～8 Gamut LUT 1～8	
消去		消去を実行します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
YCbCr カラーマトリクス	オート ITU-R BT.709 ITU-R BT.2020	入力信号がYCbCrフォーマットのときのマトリクス変換方法を設定します。 [オート]: [ピクチャーモード]または[カラーガマット]の設定が [ITU-R BT.2020]のときはITU-R BT.2020規格、それ以外は ITU-R BT.709規格に準拠したマトリクス係数を設定します。 [ITU-R BT.709]: ITU-R BT.709規格に準拠したマトリクス係数を設定します。 [ITU-R BT.2020]: ITU-R BT.2020規格に準拠したマトリクス係数を設定します。
2020 コンスタントルミナンス ¹⁰	コンスタント ノンコンスタント	[ピクチャーモード]または[カラーガマット] ➡ [ITU-R BT.2020]のとき カラーマトリクスの変換方法を設定します。 [コンスタント]: YUV信号をリニアに変換した後、RGB信号に変換します。 [ノンコンスタント]: YUV信号をガンマ0.45のままRGB信号に変換します。
2020 ガマットマッピング	ガマットマッピング クリッピング	[ピクチャーモード]または[カラーガマット] ➡ [ITU-R BT.2020]のとき [ガマットマッピング]: ネイティブ色域外の色をキャノン独自の方式でマッピングします。 [クリッピング]: ネイティブ色域外の色を一般的な方式でクリップします。
Hybrid Log-Gamma System	オート マニュアル • マニュアルを選択時 [ガンマ/EOTF] ➡ [Hybrid Log-Gamma]のとき 1.000 ~ 1.500 (1.200) [Hybrid Log-Gamma RGB]のとき γ 1.2 - 1000 cd/m² γ 1.2 - 2000 cd/m ²	[ガンマ/EOTF] ➡ [Hybrid Log-Gamma]または[Hybrid Log-Gamma RGB]のとき システムガンマ値、またはピーク輝度を設定します。 [オート]: [Hybrid Log-Gamma]を選択時、コントラスト値に応じて、自動でシステムガンマ値を調整します。[Hybrid Log-Gamma RGB]を選択時は、設定できません。 [マニュアル]: [Hybrid Log-Gamma]または[Hybrid Log-Gamma RGB]を選択時の動作は、次のとおりです。 [Hybrid Log-Gamma]のとき: システムガンマ値を調整します。(0.005刻み) [Hybrid Log-Gamma RGB]のとき: ピーク輝度を設定します。各設定値の最大値が、[HDRレンジ]の上限値になります。
HDR/SDR比較表示 ¹¹	オン、オフ	HDR(High Dynamic Range)とSDR(Standard Dynamic Range)の表示を比較できます。 [オン]: 右画面はSDRの輝度で表示されます。 [オフ]: 比較表示をしません。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
HDMIリンク ¹²	[ピクチャーモード] ➡ [User 1-7]のとき HDMIのメタデータを使い、映像の画質設定に連動した画質で表示します。	
自動設定	オン、 オフ	
カラーガマット/ガンマ/EOTF	オン 、オフ	本機の[カラーガマット]、[ガンマ/EOTF]の設定を、HDMIのメタデータに合わせます。
コントラスト/HDRレンジ	オン 、オフ	本機の[コントラスト]、[HDRレンジ]の設定を、HDMIのメタデータに合わせます。
ピクチャーモードコピー ¹³	[ピクチャーモード] ➡ [User 1-7]のとき ピクチャーモードの設定内容をコピーします。	
コピー元ピクチャーモード	SMPTE-C EBU ITU-R BT.709 ITU-R BT.2020 Adobe RGB DCI-P3 User 1 (2020 PQ) User 2 (2020 HLG) User 3 (DCI PQ) User 4 (DCI PQ D65) User 5 ~ User 7	コピー元のピクチャーモードを選択します。 [User 1-7]：現在設定しているモード以外から選択します。
実行		コピーを実行します。
ピクチャーモード名		[User 1-7]の名前を、半角英数字記号24文字以内で変更できます。
画質設定アンカー	OK キャンセル	[コントラスト]、[ブライトネス]、[クロマ]、[シャープネス]、[HDRレンジ]の調整値を一時的に保存して、その値に戻すことができます(アンカーポイントの設定)。 [OK]：アンカーポイントを設定します。 [キャンセル]：アンカーポイント設定を実行せずに、1つ前の画面に戻ります。
画質設定リセット	OK キャンセル	[ピクチャーモード]の設定内容を工場出荷時に戻します。キャリブレーションを実行している[User 1-7]モードは、工場出荷時ではなくキャリブレーション後の設定内容に戻ります。 選択すると[画質設定値を初期状態に戻しますか?]というメッセージが表示されます。 [OK]：リセットを実行します。 [キャンセル]：リセットを実行せずに、1つ前の画面に戻ります。

- ¹ [ACESproxy (ver. 1.0.1)]は、[チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [タイプ]が[L/R]、[4K/2K]または[オート]の場合、設定できません。
- ² [チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [タイプ]が[L/R]の場合、右画面の[ピクチャーモード]では[コントラスト]を調整できません。左画面の設定値に固定されます。
- ³ [CDL/User LUT] ➡ [CDL 1-8]または[オフ]以外を選択時、[クロマ]は調整できません。
- ⁴ [チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [タイプ]が[L/R]の場合、右画面の[ピクチャーモード]では[バックライトコントロール]を設定できません。左画面の設定値に固定されます。
- ⁵ • [カスタム (xy)]と、[ゲインR/G/B]または[バイアスR/G/B]は同時に選択できません。
• [ゲインR/G/B]または[バイアスR/G/B]を調整している場合、プリセットの色温度モードに[*]が表示されます。
• 表示される色度座標(x, y)の値は調整時の目安となるもので、絶対値を保証するものではありません。
- ⁶ • 次の場合、[カラーガマット]は設定できません。
- [CDL/User LUT] ➡ [ARRI (Rec2100-PQ-1K-100)]、[ARRI (Rec2100-HLG-1K-200)]、[VARICAM (V-Log to V-709)]、[2020 PQ to 2020 SDR]、[2020 PQ to 709 SDR]、[2020 HLG to 709 HLG]、[2020 HLG to 709 SDR]を選択時
• CINEMA EOS SYSTEMの映像を確認するときは「CINEMA EOS SYSTEMとキヤノン製ディスプレイの設定値対応表(📖 67)」をご参照ください。

- ⁷ • 次の場合、設定できません。
- [ピクチャーモード]が[ACESproxy (ver. 1.0.1)]を選択時
 - [CDL/User LUT] ➡ [ARRI (Rec2100-PQ-1K-100)]、[ARRI (Rec2100-HLG-1K-200)]、[VARICAM (V-Log to V-709)]、[2020 PQ to 2020 SDR]、[2020 PQ to 709 SDR]、[2020 HLG to 709 SDR]を選択時
- CINEMA EOS SYSTEMカメラとARRI社製／パナソニック社製シネマカメラの映像を確認するときは、[カメラリンク] ➡ [自動画質設定]をご参照ください(63)。
- [カラーガマット]と選択できる[ガンマ/EOTF]の関係は次のとおりです。[カラーガマット]を変更した場合、現在設定中の[ガンマ/EOTF]の設定内容が選択できないときは、下線の値(初期値)に変更されます。

ピクチャーモード	カラーガマット	選択できるガンマ/EOTF
SMPTE-C	選択不可	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Canon Log、Canon Log (HDR)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
EBU		オフ、1.0、2.2、 <u>2.35</u> 、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Canon Log、Canon Log (HDR)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
ITU-R BT.709、 ITU-R BT.2020		オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Hybrid Log-Gamma、Hybrid Log-Gamma RGB、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、S-Log2 (HDR)、S-Log3 (HDR)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
Adobe RGB		オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
DCI-P3		オフ、1.0、2.2、2.35、2.4、 <u>2.6</u> 、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、S-Log2 (HDR)、S-Log3 (HDR)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
CINEMA EOS SYSTEM、 User 1-7	SMPTE-C	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Canon Log、Canon Log (HDR)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	EBU	オフ、1.0、2.2、 <u>2.35</u> 、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Canon Log、Canon Log (HDR)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	ITU-R BT.709、 ITU-R BT.2020	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Hybrid Log-Gamma、Hybrid Log-Gamma RGB、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、S-Log2 (HDR)、S-Log3 (HDR)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	Adobe RGB	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	DCI-P3	オフ、1.0、2.2、2.35、2.4、 <u>2.6</u> 、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、S-Log2 (HDR)、S-Log3 (HDR)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	Native	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	Cinema Gamut to 709、 Cinema Gamut to 2020	2.2、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、 <u>Canon Log 2 (HDR)</u> 、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)
	Cinema Gamut to DCI	Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、 <u>Canon Log 2 (HDR)</u> 、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)
	DCI-P3+ to 709、 DCI-P3+ to DCI	Canon Log、 <u>Canon Log (HDR)</u>
	S-Gamut3 to 709 S-Gamut3 to 2020 S-Gamut3.Cine to 709 S-Gamut3.Cine to 2020	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Hybrid Log-Gamma、Hybrid Log-Gamma RGB、S-Log2 (HDR)、S-Log3 (HDR)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	S-Gamut3 to DCI S-Gamut3.Cine to DCI	オフ、1.0、2.2、2.35、2.4、 <u>2.6</u> 、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、S-Log2 (HDR)、S-Log3 (HDR)、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8
	Gamut LUT 1 ～ Gamut LUT 8	オフ、1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Gamma LUT 1 ～ Gamma LUT 8

- ⁸
- [ピクチャーモード]の[ACESproxy (ver. 1.0.1)]を選択時は、設定できません。
 - [オート]時の動作は、次のとおりです。
 - カメラのメタデータにカラーレンジの設定が含まれている場合は、その設定内容に応じて設定されます。SDI選択時、Payloadに[フルレンジ]のメタデータがある場合は、[SDIフル]が設定されます。
 - HDMI選択時は、HDMI信号情報により[フル]または[リミテッド]に自動的に設定されます。
 - SDI選択時は、[ピクチャーモード]、[カラーガマット]、[ガンマ/EOTF]の設定内容に応じて設定されます。

	設定内容	設定されるカラーレンジ
ピクチャーモード	DCI-P3	フル
カラーガマット	DCI-P3	
	Cinema Gamut to DCI DCI-P3+ to DCI	
ガンマ/EOTF	Canon Log (HDR)	
	Canon Log 2 (HDR)	
	Canon Log 3 (HDR)	
	S-Log2 (HDR)	
	S-Log3 (HDR)	
上記以外		リミテッド

- [フォーマット] ➡ [ICtCp]の場合の動作は、次のとおりです。
 - [カラーレンジ]の[フル]以外を選択時、[波形モニター]は[カラーレンジ]で設定されている信号のみを表示します。
 - [チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [タイプ]が[L/R]のとき：左画面の[カラーレンジ]の設定内容に固定されるのは、次のとおりです。
 - ・ 1端子入力を全画面表示時
 - ・ [2 Sample Interleave]または[Dual Link 3G-SDI]信号を表示時
- ⁹
 - [CDL 1-8]以外を選択時、次の機能は設定できません。
 - [Power]、[Saturation]、[Offset]、[Slope]、[詳細設定]、[CDLアンカー]、[CDLリセット]
 - [ARRI (Rec2100-PQ-1K-100)]を選択時、[HDRレンジ] ➡ [SMPTE ST 2084 (PQ)]の設定は[1000]になります。
 - [ARRI (Rec2100-HLG-1K-200)]を選択時、[HDRレンジ] ➡ [Hybrid Log-Gamma]の設定は[1000]になります。
 - [User LUT]の設定内容により、[カラーガマット]と[ガンマ/EOTF]は下記の設定内容に固定されます。

User LUT	カラーガマット	ガンマ/EOTF
ARRI (Rec2100-PQ-1K-100)	ITU-R BT.2020	SMPTE ST 2084 (PQ)
ARRI (Rec2100-HLG-1K-200)	ITU-R BT.2020	Hybrid Log-Gamma
VARICAM (V-Log to V-709)	ITU-R BT.709	2.2
2020 PQ to 2020 SDR	ITU-R BT.2020	2.4
2020 PQ to 709 SDR	ITU-R BT.709	
2020 HLG to 709 HLG	ITU-R BT.709	—
2020 HLG to 709 SDR	ITU-R BT.709	2.4

- [CDL/User LUTバイパス]：[ピクチャーファンクション設定] ➡ [比較表示] ➡ [表示] ➡ [オン]のとき、「オフ」固定です。
- ¹⁰
 - SD-SDI信号は[ノンコンスタント]固定です。
 - [チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [タイプ]が[L/R]のとき：[2020 コンスタントルミナンス]が[ノンコンスタント]に固定されるのは、次のとおりです。ただし、左右画面の[カラーガマット]が[ITU-R BT.2020]のときは、左画面の設定内容に固定されます。
 - 1端子入力を全画面表示時
 - [2 Sample Interleave]または[Dual Link 3G-SDI]信号を表示時
- ¹¹
 - 右画面の[ピクチャーモード]を選択時は、設定できません。
 - 左画面の[コントラスト]が[1000]以下に設定されている場合は、左右の画面の輝度が同じになります。

¹² ● HDMIメタデータと本機の設定値対応表

HDMIメタデータ		本機の設定値
カラーガマット	BT.709	ITU-R BT.709
	BT.2020	ITU-R BT.2020
ガンマ/EOTF	Traditional SDR	2.2
	PQ	PQ
	Hybrid Log-Gamma	Hybrid Log-Gamma

- [チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [タイプ]が[L/R]のとき、[HDMIリンク]は設定できません。

¹³ [User 1-7]以外の[ピクチャーモード]の場合は、工場で行ったキャリブレーション結果がコピーされます。

■ 各[ピクチャーモード]の工場出荷時の設定内容

設定項目		SMPTE-C	EBU	ITU-R BT.709	ITU-R BT.2020	Adobe RGB	DCI-P3
コントラスト		1000	1000	1000	1000	1000	480
ブライトネス		0	0	0	0	0	0
クロマ		1000	1000	1000	1000	1000	1000
シャープネス		0	0	0	0	0	0
バックライトコントロール		ローカル ディミング 弱	ローカル ディミング 弱	ローカル ディミング 弱	ローカル ディミング 弱	ローカル ディミング 弱	ローカル ディミング 弱
色温度	プリセット	D65	D65	D65	D65	D65	DCI-P3
	x	0.313	0.313	0.313	0.313	0.313	0.314
	y	0.329	0.329	0.329	0.329	0.329	0.351
	ゲインR/G/B	1023/1023/1023 ([D65 Custom]のとき：1000/1023/1023)					
	バイアスR/G/B	0	0	0	0	0	0
カラーガマット		SMPTE-C	EBU	ITU-R BT.709	ITU-R BT.2020	Adobe RGB	DCI-P3
ガンマ/EOTF		2.2	2.35	2.2	2.2	2.2	2.6
カラーレンジ		オート	オート	オート	オート	オート	オート
Input Transform		－	－	－	－	－	－
Output Transform		－	－	－	－	－	－
Output Transform Surround		－	－	－	－	－	－
CDL/User LUT		オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
YCbCr カラーマトリクス		オート	オート	オート	オート	オート	オート
2020 コンスタントルミ ナンス		ノンコンス タント	ノンコンス タント	ノンコンス タント	ノンコンス タント	ノンコンス タント	ノンコンス タント
2020 ガマットマッピング		クリッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング
Hybrid Log-Gamma System		－		マニュアル ([Hybrid Log- Gamma]のとき：1.200、 [Hybrid Log-Gamma RGB] のとき： γ 1.2-1000 cd/m ²)		－	
HDR/SDR比較表示		オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
HDMIリンク		オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
ピクチャーモード名		－	－	－	－	－	－

設定項目		User 1	User 2	User 3	User 4	User 5 ~ User 7
コントラスト		20000	10000	20000	20000	1000
ブライトネス		0	0	0	0	0
クロマ		1000	1000	1000	1000	1000
シャープネス		0	0	0	0	0
バックライトコントロール		ローカル ディミング オート	ローカル ディミング オート	ローカル ディミング オート	ローカル ディミング オート	ローカル ディミング 弱
色温度	プリセット	D65	D65	DCI-P3	D65	D65
	x	0.313	0.313	0.314	0.313	0.313
	y	0.329	0.329	0.351	0.329	0.329
	ゲインR/G/B	1023/1023/1023 ([D65 Custom]のとき : 1000/1023/1023)				
	バイアスR/G/B	0	0	0	0	0
カラーガマット		ITU-R BT.2020	ITU-R BT.2020	DCI-P3	DCI-P3	ITU-R BT.709
ガンマ/EOTF		SMPTE ST 2084 (PQ)	Hybrid Log- Gamma	SMPTE ST 2084 (PQ)	SMPTE ST 2084 (PQ)	2.2
カラーレンジ		オート	オート	オート	オート	オート
Input Transform		—	—	—	—	—
Output Transform		—	—	—	—	—
Output Transform Surround		—	—	—	—	—
CDL/User LUT		オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
YCbCr カラーマトリクス		オート	オート	オート	オート	オート
2020 コンスタントルミ ナンス		ノンコンス タント	ノンコンス タント	ノンコンス タント	ノンコンス タント	ノンコンス タント
2020 ガマットマッピング		クリッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング
Hybrid Log-Gamma System		マニュアル ([Hybrid Log-Gamma]のとき : 1.200、[Hybrid Log-Gamma RGB]のとき : γ 1.2-1000 cd/m ²)				
HDR/SDR比較表示		オン	オン	オン	オフ	オフ
HDMIリンク		オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
ピクチャーモード名		User 1 (2020 PQ)	User 2 (2020 HLG)	User 3 (DCI PQ)	User 4 (DCI PQ D65)	User 5 ~ User 7

設定項目		CINEMA EOS SYSTEM	ACESproxy (ver. 1.0.1)
コントラスト		20000	480
ブライトネス		0	0
クロマ		1000	1000
シャープネス		0	0
バックライトコントロール		ローカルディミング オート	ローカルディミング弱
色温度	プリセット	D65	D60
	x	0.313	0.322
	y	0.329	0.338
	ゲインR/G/B	1023/1023/1023 ([D65 Custom] のとき : 1000/1023/1023)	
	バイアスR/G/B	0	0
カラーガマット		ITU-R BT.2020	—
ガンマ/EOTF		Canon Log 2 (HDR)	—
カラーレンジ		オート	—
Input Transform		—	オート
Output Transform		—	DCI-P3
Output Transform Surround		—	Dark Surround
CDL/User LUT		オフ	オフ
YCbCr カラーマトリクス		オート	オート
2020 コンスタントルミナンス		ノンコンスタント	ノンコンスタント
2020 ガマットマッピング		クリッピング	クリッピング
Hybrid Log-Gamma System		マニュアル ([Hybrid Log-Gamma] のとき : 1.200、 [Hybrid Log-Gamma RGB] のとき : γ 1.2-1000 cd/m ²)	—
HDR/SDR比較表示		オフ	オフ
HDMIリンク		オフ	オフ
ピクチャーモード名		—	—

チャンネル設定

入力信号に関する設定を行うときに使うメニューです。[セレクトチャンネル]からチャンネルを選択して、設定します。
※「対応信号フォーマット」(83)

サブメニュー	設定内容	
セレクトチャンネル ¹	CH1 ～ CH20	チャンネル番号を表示して、チャンネルを切り換えます。また、各チャンネルには、[チャンネル設定]の各内容を設定できます(15)。
入力設定	12-3G/HD-SDI 3G-SDI RAW SD-SDI HDMI －(未設定)	入力を選択します。工場出荷時の設定内容はチャンネルによって異なります(16)。
入力信号選択 ²	オート Quad Input Dual Input A,B Dual Input C,D Single Input A Single Input B Single Input C Single Input D	<p>信号の表示方法を設定します。</p> <p>[オート]: 入力信号に合わせて、自動で判別します。</p> <p>[Quad Input]: 4つの入力信号(Input A ～ Input D端子)を表示します。</p> <p>[Dual Input A,B]: 2つの入力信号(Input A端子とInput B端子)を表示します。</p> <p>[Dual Input C,D]: 2つの入力信号(Input C端子とInput D端子)を表示します。</p> <p>[Single Input A]、[Single Input B]、[Single Input C]、 [Single Input D]: 1つの入力信号(Input A ～ Input Dのいずれかの端子)を表示します。</p>
Image Division ³	<p>[入力設定] ➡ [12-3G/HD-SDI]のとき</p> <p>[Quad Input]または[Dual Input]の場合の表示方法を設定します。4K映像の信号は、「Square Division」と「2 Sample Interleave」の2つの分割方式に対応しています。</p>	
	<p>オート Square Division 2 Sample Interleave</p> <p>[入力信号選択] ➡ [Quad Input]のとき Multi View (Quad) [Dual Input]のとき Dual Link 3G-SDI Multi View (Dual)</p>	<p>[オート]: Payloadをもとに、自動判別して表示します。</p> <p>[Square Division]: 4分割して伝送された信号を、1映像として表示します。</p> <p>[2 Sample Interleave]: 2K/HD信号に分割して伝送された信号を、1映像として表示します。</p> <p>[Multi View (Quad)]: 4入力それぞれの映像を、4画面に表示します。</p> <p>[Dual Link 3G-SDI]: Dual Linkの3G-SDI信号を、1映像として表示します。</p> <p>[Multi View (Dual)]: 2入力それぞれの映像(Input A,BまたはInput C,D)を、2画面に表示します。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>入力信号選択: Quad Input、Image Division: Square Division</p>

サブメニュー	設定内容	
Link Order	オート オフ	[2 Sample Interleave]または[Dual Link 3G-SDI]信号の場合、Payloadをもとに、端子の順番を自動判別し、正しい順番に並べ替えて表示します。
フォーマット ⁴	SDI信号の場合 オート 4:2:2 YCbCr 10-bit 4:2:2 YCbCr 12-bit 4:4:4 YCbCr 10-bit 4:4:4 YCbCr 12-bit 4:2:2 ICtCp 10-bit 4:2:2 ICtCp 12-bit 4:4:4 ICtCp 10-bit 4:4:4 ICtCp 12-bit 4:4:4 RGB 10-bit 4:4:4 RGB 12-bit 4:4:4 XYZ 10-bit 4:4:4 XYZ 12-bit HDMI信号の場合 オート 4:4:4 XYZ 12/10-bit	カラーフォーマットと信号の階調を設定します。 [オート]: 入力信号にあわせて自動で判別します。
音声端子 ⁵	[入力信号選択] ➡ [Quad Input]のとき オート、Input A、 Input B、Input C、 Input D [Dual Input A,B]の とき オート、Input A、 Input B [Dual Input C,D]の とき オート、Input C、 Input D	音声端子を設定します。 [オート]: 入力信号に合わせて、自動で判別します。
Marker/TC/CameraInfo 端子 ⁶	[入力信号選択] ➡ [オート]または[Quad Input]のとき Input A、Input B、 Input C、Input D [Dual Input A,B]の とき Input A、Input B [Dual Input C,D]の とき Input C、Input D	各種マーカー(グリッドマーカーを除く)、タイムコード、カメライン フォメーション表示の対象となる端子を設定します。(カメラインフォ メーションは、[Multi View (Quad)]表示時のみ)

サブメニュー	設定内容	
インターナルシンク	オン、オフ	<p>[Image Division] ➡ [Square Division]のとき 4入力を同期させるかを設定します。</p> <p>[オン]: 強制的に同期をとります。 [オフ]: 同期をとりません。</p>
チャンネル名		選択したチャンネルに、名前を設定します。入力できる文字は英数字記号(半角)で、16文字までです。
ピクチャーモード ⁷	チャンネルごとに[ピクチャーモード]を設定します。	
タイプ	ノーマル L/R 4K/2K オート	<p>[ノーマル]: 1つの[ピクチャーモード]を設定します。</p> <p>[L/R]: 左右画面ごとに、[ピクチャーモード]を設定します。解像度が2K以下の場合は、[1入力Dual View]表示になります。</p> <p>[4K/2K]: 4Kまたは2K信号の表示画面ごとに、[ピクチャーモード]を設定します。</p> <p>[オート]: SDI信号に応じて、[ピクチャーモード]を設定します。カメラのメタデータ→Payload→解像度(4K/2K)の優先順位で、設定した[ピクチャーモード]に切り換わります。</p>
[タイプ] ➡ [ノーマル]のとき ピクチャーモード [L/R]のとき ピクチャーモード L ピクチャーモード R [4K/2K]のとき Resolution 4K、2K [オート]のとき Resolution 4K、2K Payload UHD/PQ、 UHD/HLG、UHD、 709/PQ、 709/HLG、709、 VANC、Unknown Camera CINEMA EOS SYSTEM、 ARRI、VARICAM	SMPTE-C EBU ITU-R BT.709 ITU-R BT.2020 Adobe RGB DCI-P3 User 1 (2020 PQ) User 2 (2020 HLG) User 3 (DCI PQ) User 4 (DCI PQ D65) User 5 ~ User 7 CINEMA EOS SYSTEM ACESproxy (ver. 1.0.1) -(未設定)	<p>各画面の[ピクチャーモード]を設定します。</p> <p>[ACESproxy (ver. 1.0.1)]: [タイプ]が[ノーマル]のときに設定できません。</p> <p>[-] (未設定): 入力信号に応じて自動的に画質を切り換えません。[タイプ] ➡ [オート]で、[Resolution 4K]と[Resolution 2K]以外を選択時に設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> SDI Payload IDのColorimetry Bit/Transfer Characteristicsは、次の規格に準拠した信号に対応しています。 <ul style="list-style-type: none"> SMPTE ST 2082-10:2018 (12G-SDI) SMPTE ST 2081-10:2018 (6G-SDI) SMPTE ST 425-1:2017 (3G-SDI Single Link / Square Division) SMPTE ST 425-3:2019 (3G-SDI Dual Link(2SI)) SMPTE ST 425-5:2019 (3G-SDI Quad Link(2SI)) SMPTE ST 292-1:2018 (HD-SDI)

サブメニュー	設定内容	
1入力Dual View ⁸	オート、オフ	<p>[Image Division] ➡ [Multi View(Quad)]または[Multi View(Dual)]以外のとき 入力映像を縮小して、2画面で表示することができます。</p> <p>[オート]: [ピクチャーモード] ➡ [タイプ]が[L/R]のとき、または[ピクチャーファンクション設定]のサブメニュー項目が[オン]のときに、自動的に同じ画像を並べて、2画面比較表示をします。4K映像は縮小して表示されます。</p> <p>該当する[ピクチャーファンクション設定]のサブメニュー項目: [ピーキング]、[フォルスカラー]、[オーバーレンジ]、[2020 色域外表示]、[モノクロ]、[ブルーオンリー]、[レッドオフ]、[グリーンオフ]、[ブルーオフ]、[比較表示]</p>
セパレーター	ホワイト ハーフ ブラック オフ	<p>次の場合に、画面の境界線を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - [ピクチャーモード] ➡ [タイプ]が[L/R]のとき - [Multi View (Quad)] または [Multi View (Dual)] のとき - [1入力Dual View]が[オート]で動作している場合 - [ピクチャーファンクション設定] ➡ [比較表示] ➡ [表示]が[オン]のとき

¹ チャンネルを切り換えるとき、5秒程度時間がかかる場合があります。

² 入力信号により、設定可能な設定内容は異なります。

- [SD-SDI]の場合: [Single Input A] ~ [Single Input D]のみ選択可能です。
- [HDMI]の場合: [オート]固定です。

³ • [Multi View (Quad)]または[Multi View (Dual)]のとき、2画面または4画面表示ができる映像信号フォーマットの組み合わせは、次のとおりです。

- 解像度の組み合わせ: 同一、または「4096x2160と2048x1080」、「3840x2160と1920x1080」
- フレームレートとI/P/PsFの組み合わせ: 「23.98P / 24P / 25P / 29.97P / 30P」のいずれかの場合
「I(すべて) / PsF(すべて) / 47.95P / 48P / 50P / 59.94P / 60P」のいずれかの場合
- (4画面表示のみ)左右それぞれで、上下画面の映像信号のフレームレートとI/P/PsFが同じ場合

- フレームレートやI/P/PsFが異なる信号を入力したとき、周期的に映像の乱れが発生する場合があります。

⁴ • HD-SDI信号は、[4:2:2 YCbCr 10-bit]または[4:2:2 ICtCp 10-bit]になります。

- [SD-SDI]は[4:2:2 YCbCr 10-bit]固定です。
- [3G-SDI RAW]は[オート]固定です。
- [オート]を選択した場合、A→B→C→Dの優先順位で選択されたPayloadで処理されます。
- ICtCp方式の信号を正しく表示するための各設定は、次のとおりです。
 - [ピクチャーモード]: [ITU-R BT.709]または[ITU-R BT.2020]
 - [カラーガマット]: [ITU-R BT.709]または[ITU-R BT.2020]
 - [ガンマ/EOTF]: [SMPTE ST 2084 (PQ)]、[Hybrid Log-Gamma]または[Hybrid Log-Gamma RGB]
- SDI信号のICtCp方式を取り扱いたい場合には、信号に合わせて[4:2:2 ICtCp 10-bit]、[4:2:2 ICtCp 12-bit]、[4:4:4 ICtCp 10-bit]または[4:4:4 ICtCp 12-bit]を選択してください。
- SDI信号の4:4:4 XYZ 10-bitを取り扱いたい場合には、[4:4:4 XYZ 10-bit]を選択してください。4:4:4 RGB 10-bitフォーマットで出力されたRGBデータの中に、XYZデータが入っている信号として扱います。

⁵ [入力信号選択] ➡ [オート]または[Single Input]の場合、[オート]固定です。

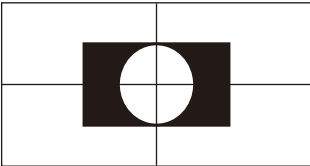
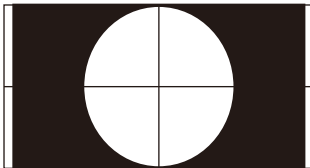
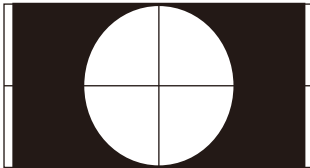
⁶ [Multi View (Quad)]または[Multi View (Dual)]以外の場合は、無効です。

- ⁷ • 入力信号により、設定可能な設定内容は異なります。
- [SD-SDI]の場合：[タイプ]は[ノーマル]固定です。[オート]は設定できません。
 - [3G-SDI RAW]、[HDMI]の場合：[タイプ]の[4K/2K]と[オート]は設定できません。
- [タイプ] ➡ [L/R]のとき
- 左右画面で同一の[ピクチャーモード]を設定すると、選択していない画面の[ピクチャーモード]が他のモードに変更されます(左右画面の[ピクチャーモード]が入れ替わる、など)。
 - 2K以下の信号の場合は、[1入力Dual View]固定です。
- ⁸ 非対応の信号が入力されている場合は、無効です。

ディスプレイ設定

表示のしかたを設定するときに使うメニューです。

46

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
スクリーン スケーリング ¹	Native Input Resolution 200% オート	<p>画像をスケーリングして画面にどのように表示するかを設定します。</p> <p>[Native Input Resolution]：スケーリングをせずに入力信号をそのまま表示します。</p>  <p>1920x1080(オリジナル)</p> <p>[200%]：縦横2倍に拡大します。</p>  <p>1920x1080→3840x2160</p> <p>[オート]：画面全体に拡大して表示します。</p>  <p>1920x1080→3840x2160</p>
アナモフィック ²	x2.0 x1.8 x1.5 x1.33 オフ	<p>アナモフィックレンズを使って撮影した映像を確認するときに設定します。設定した倍率に応じて表示します。</p>

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
スケーリング法	シェープトレース バイキュービック ニアレストネイバー	<p>[スクリーンスケーリング]の[200%]または[オート]を選択した場合の、補間法を設定します。</p> <p>[シェープトレース]: ジャギーが目立たない滑らかな斜め線が再現できる、キャノンオリジナルの処理です。</p>  <p>[バイキュービック]: 隣接する画素の情報を利用して補間画素を作る一般的な補間処理です。</p>  <p>[ニアレストネイバー]: 最も近くの画素の情報を用いて新しい画素を作る(コピー)処理です。元の画素をそのまま拡大して確認する場合には適しますが、ジャギーが目立ちます。</p> 
映像表示位置 (Multi View)	上 中 下(センター)	<p>[Multi View (Quad)]または[Multi View (Dual)]、[1入力Dual View]表示のとき 映像の上下の表示位置を設定します。</p> <p>[上]: 画面上部に配置します。</p> <p>[中]: 画面中央より上に寄せて配置します。</p> <p>[下(センター)]: 画面中央に配置します。</p>
ズーム ³	映像の一部分を拡大します。ズーム機能は、解像度が[4096×2160]、[3840×2160]、[2048×1080]、[1920×1080]の場合に使用できます。	
ズームプリセット	ズーム1 ズーム2 ズーム3 オフ	ズームの表示方法を設定します。3つのプリセットがあります。
倍率	x2 x4 x8	ズームの表示倍率を設定します。
ポジション		ズーム調整画面が表示されます。ジョグダイヤルを使って、表示位置を調整します。
タイプ	ノーマル 1入力Dual View	<p>拡大映像の表示方法を設定します。</p> <p>[ノーマル]: 拡大した映像のみを表示します。</p> <p>[1入力Dual View]: 左側に映像全体を、右側に拡大映像を表示します。</p>

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
フレームホールド ⁴	オン、 オフ	映像を一時停止します。
バックグラウンドカラー ⁵	ホワイト グレー オフ	黒帯と映像との境界を確認するために、黒帯の色を設定します。
I/PsF	オート インターレース PsF	インターレース信号またはPsF信号を、どのように表示するか設定します。 [オート]：Payloadを元に自動判別し表示します。Payloadがない場合には、インターレースとして表示します。 [インターレース]：インターレースとして表示します。 [PsF]：PsFとして表示します。
PsF	プログレッシブ インターレース	PsF信号をどのように表示するか設定します。 [プログレッシブ]：対になる2フィールドを検知し、画質を優先して補間します。 [インターレース]：隣接する2フィールドを用いて速度を優先して補間します。
I/P変換	画質優先 速度優先	インターレース信号のI/P変換法を設定します。 [画質優先]：画質を優先するモードです。[速度優先]より処理時間は長くなります。 [速度優先]：速度を優先するモードです。
フィルムケイデンス ⁶	2-2 2-3 2-3-3-2 オフ	フィルムケイデンスモードを設定します。 [2-2]：2-2プルダウン処理されたインターレース信号入力の際にプログレッシブ変換映像を表示します。 [2-3]：2-3プルダウン処理されたインターレース信号入力の際にプログレッシブ変換映像を表示します。 [2-3-3-2]：2-3-3-2プルダウン処理されたインターレース信号入力の際にプログレッシブ変換映像を表示します。 [オフ]：フィルムケイデンスモード設定によるプログレッシブ変換を行いません。

¹ 次の場合、[オート]を選択しても、拡大率は最大200%です。

- [ピーキング]、[フォルスカラー]または[オーバーレンジ]が[オン]の場合

² 次の場合、設定は無効になります。

- [ピーキング]、[フォルスカラー]または[オーバーレンジ]が[オン]の場合

³ • 次の場合、ズーム機能は使用できません。

- [スクリーンキャプチャー]の[ファイル再生]を実行中

- テストパターンを表示中

- [Multi View (Quad)]または[Multi View (Dual)]表示時

- [チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [タイプ] ➡ [L/R]のとき

- [ピクチャーファンクション設定] ➡ [比較表示] ➡ [表示] ➡ [オン]のとき

• ズーム機能を使用中、下記は表示されません。

バックグラウンドカラー、各種マーカー

• ズーム機能の設定を変更すると、[フレームホールド]は[オフ]になります。

• [タイプ] ➡ [ノーマル]のとき：解像度が[2048×1080]または[1920×1080]の場合、[倍率]を[x2]に設定しても表示位置は変更できません。

• [タイプ] ➡ [1入力DualView]のとき：4K映像(3840x2160または4096x2160)の場合、[ノーマル]に比べて拡大映像の画質が低下します。

- ⁴ ● [ピーキング]が[オン]の場合、設定できません。
- 映像を一時停止中に画質設定を変更した場合、正しく設定が反映されないことがあります。
- ⁵ [Multi View (Quad)]または[Multi View (Dual)]表示時は、設定できません。
- ⁶ ● [I/P変換]が[画質優先]の場合にのみ設定できます。
- [Multi View (Quad)]または[Multi View (Dual)]表示時は、設定できません。[オフ]固定になります。

オーディオ設定




ヘッドホン端子からの音声出力を設定するときに使うメニューです。


50

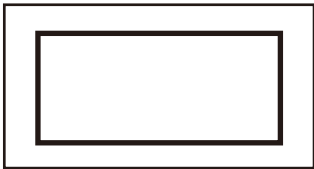


サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
SDIグループ	CH1-CH8 CH9-CH16	SDI音声入力時、入力する音声グループを切り換えます。
CH L(SDI)	[SDIグループ] ➡ [CH1-CH8]のとき CH1 ~ CH8(CH1) [CH9-CH16]のとき CH9 ~ CH16(CH9)	ヘッドホンの2チャンネル(L/R)にどの音声を出力するかをそれぞれ設定します。[SDIグループ]に応じて選択肢が変わります。
CH R(SDI)	[SDIグループ] ➡ [CH1-CH8]のとき CH1 ~ CH8(CH2) [CH9-CH16]のとき CH9 ~ CH16(CH10)	
CH L(HDMI)	CH1 ~ CH8(CH1)	ヘッドホンの2チャンネル(L/R)に、どの音声を出力するかをそれぞれ設定します。
CH R(HDMI)	CH1 ~ CH8(CH2)	
音量	0 ~ 100(30)	音量を設定します。(1刻み)
音声切換	L R L R MIX(L+R)	ステレオ出力を設定します。

マーカー設定

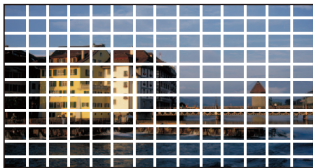
各種マーカーを設定するときに使うメニューです。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
マーカープリセット	マーカー1 ～ 5 オフ	マーカーをカスタマイズして、マーカー1 ～ 5に設定します。
アスペクトマーカー ¹	アスペクトマーカーとは、指定されたアスペクト比で範囲を表示するものです。 	
表示	オン、 オフ	アスペクトマーカーの表示、非表示を切り換えます。
マスク	ブラック ハーフ オフ	<p>マスクの色を切り換えます。マスクとは、マーカーの範囲外のブラン king エリアです。</p> <p>[ブラック]:</p>  <p>[ハーフ] (50%グレー):</p>  <p>[オフ]: マスクを表示しません。</p>
アスペクト比	16:9 、15:9、14:9、 13:9、4:3、2.39:1、 2.35:1、1.896:1、 1.85:1、1.66:1、 バリエابل • バリエابلを選択時 1.00:1 ～ 3.00:1 (1.78:1)	<p>アスペクトマーカーのアスペクト比を設定します。</p> <p>[バリエابل]を選択すると、数値で入力できます(0.01:1刻み)。グレー表示されていたスライダーがアクティブになり、スライダーを動かすことで設定できます。</p>
ライン	オン 、オフ	[マスク] ➡ [ブラック]または[ハーフ]のとき マスク上の線の表示、非表示を切り換えます。
ラインの太さ	太い 標準 細い	アスペクトマーカーの線の太さを設定します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ラインの色	ホ ホワイト 、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ、グレー	アスペクトマーカーの線の色を設定します。
ラインの明るさ	明、 暗 、ハーフ	アスペクトマーカーの線の明るさを設定します。
Hポジション	-65 ～ 65(0)	設定されたアスペクトのまま、水平位置を移動できます。
Vポジション	-35 ～ 35(0)	設定されたアスペクトのまま、垂直位置を移動できます。
セーフティゾーンマーカー1、2 ¹	セーフティゾーンマーカーは2種類を設定できます。設定項目は1、2共通です。セーフティゾーンマーカーとは、映像の安全範囲(実際に映る範囲)を設定して、映像を確認するものです。 	
表示	オン、 オフ	セーフティゾーンマーカーの表示、非表示を切り換えます。
アスペクト比 ²	16:9 、15:9、14:9、13:9、4:3、2.39:1、2.35:1、1.896:1、1.85:1、1.66:1、バリエابل ●バリエابلを選択時 1.00:1 ～ 3.00:1 (1.78:1)	セーフティゾーンマーカーのアスペクト比を設定します。 [バリエابل]: 数値で入力できます(0.01:1刻み)。グレー表示されていたスライダーがアクティブになり、スライダーを動かすことで設定できます。
エリアのサイズ	80% 、88%、90%、93%、バリエابل(%）、バリエابل(ドット)	セーフティゾーンマーカーのサイズを設定します。 [バリエابل(%)]：グレー表示されていた[倍率(%)]がアクティブになります。 [バリエابل(ドット)]：グレー表示されていた[幅(ドット)]と[高さ(ドット)]がアクティブになります。
倍率(%)	50 ～ 100(80)	[エリアのサイズ] ➡ [バリエابل(%)]のとき スライダーを動かすことにより、1%単位で現在表示されているマーカーに対する比率を設定できます。
幅(ドット)	360 ～ 4096(3276)	[エリアのサイズ] ➡ [バリエابل(ドット)]のとき スライダーを動かすことにより、2ドット単位で設定できます。
高さ(ドット)	240 ～ 2160(1728)	[エリアのサイズ] ➡ [バリエابل(ドット)]のとき スライダーを動かすことにより、2ドット単位で設定できます。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
エリアの形	ボックス ブラケット エンクロージャー	<p>セーフティゾーンマーカのエリアの形を設定します。</p> <p>[ボックス]:</p>  <p>[ブラケット]:</p>  <p>[エンクロージャー]:</p> 
ラインの太さ	太い 標準 細い	セーフティゾーンマーカの線の太さを設定します。
ラインの色	ホワイト 、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ、グレー	セーフティゾーンマーカの線の色を設定します。
ラインの明るさ	明、 暗 、ハーフ	セーフティゾーンマーカの線の明るさを設定します。
Hポジション	-65 ～ 65(0)	設定されたアスペクトとサイズのまま、水平位置を移動できます。
Vポジション	-35 ～ 35(0)	設定されたアスペクトとサイズのまま、垂直位置を移動できます。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
エリアマーカー ¹	<p>エリアマーカーは、矩形を設定して所定の部分を確認するときに使用するマーカーです。</p> 	
表示	オン、 オフ	エリアマーカーの表示／非表示を切り換えます。
Hポジション	0 ～ 4086(240)	矩形の描画開始位置(X座標)を設定します。(2刻み)
Vポジション	0 ～ 2150(120)	矩形の描画開始位置(Y座標)を設定します。(2刻み)
幅(ドット)	10 ～ 4096(240)	矩形の幅を設定します。(2刻み)
高さ(ドット)	10 ～ 2160(120)	矩形の高さを設定します。(2刻み)
マスク	ブラック ハーフ オフ	マスク(マーカー内)の色を切り換えます。
ライン	オン 、オフ	[マスク] ➡ [ブラック]または[ハーフ]のとき 矩形輪郭の線の表示、非表示を切り換えます。
ラインの太さ	太い 標準 細い	エリアマーカーの線の太さを設定します。
ラインの色	ホワイト 、レッド、 グリーン、ブルー、 イエロー、シアン、 マゼンタ、グレー	エリアマーカーの線の色を設定します。
ラインの明るさ	明、 暗 、ハーフ	エリアマーカーの線の明るさを設定します。
センターマーカー ³	<p>センターマーカーとは、映像の中心を表示するものです。</p> 	
表示	オン、 オフ	センターマーカーの表示、非表示を切り換えます。
サイズ	大 中 小	センターマーカーの大きさを設定します。
ラインの太さ	太い 標準 細い	センターマーカーの線の太さを設定します。
ラインの色	ホワイト 、レッド、 グリーン、ブルー、 イエロー、シアン、 マゼンタ、グレー	センターマーカーの線の色を設定します。
ラインの明るさ	明、 暗 、ハーフ	センターマーカーの線の明るさを設定します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
グリッドマーカー ³	グリッドマーカーとは、水平、垂直を確認するときに使用するマーカーです。 	
表示	オン、 オフ	グリッドマーカーの表示、非表示を切り換えます。
間隔	160 ドット 240 ドット 320 ドット	縦横の線の間隔を設定します。
ラインの太さ	太い 標準 細い	グリッドマーカーの線の太さを設定します。
ラインの色	ホワイト 、レッド、 グリーン、ブルー、 イエロー、シアン、 マゼンタ、グレー	グリッドマーカーの線の色を設定します。
ラインの明るさ	明、 暗 、ハーフ	グリッドマーカーの線の明るさを設定します。

¹ 次の場合、マーカーは表示されません。

- 無信号、非対応信号、または[入力設定]が設定されていないチャンネルを選択したとき
- 画像がズーム表示されているとき
- [スクリーンキャプチャー]の[ファイル再生]実行中のとき
- [テストパターン]が表示されているとき


² [エリアのサイズ]で[バリエابل(ドット)]が設定されている場合、[アスペクト比]は選択できません。

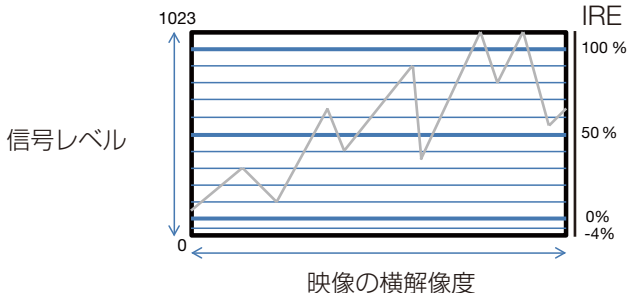
³ 次の場合、マーカーは表示されません。

- 画像がズーム表示されているとき

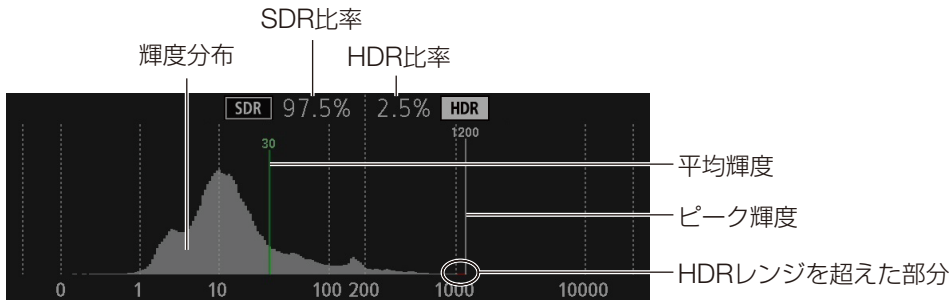
ファンクション設定

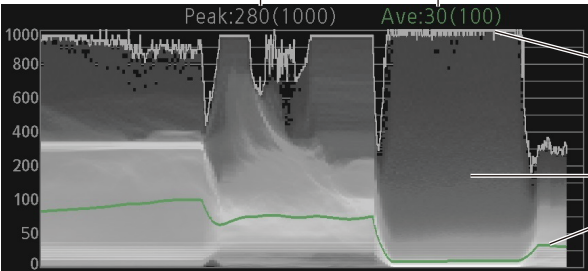
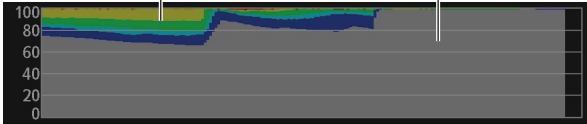
映像信号の情報表示やシネマカメラとの連携機能などを設定するときに使うメニューです。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
タイムコード ^{1, 2}	信号に重畳されたタイムコードを表示します。 	
表示	オン、 オフ	タイムコードの表示、非表示を切り換えます。
タイプ	VITC LTC	タイプを選択します。
サイズ	大 小	サイズを選択します。
ポジション ³	左上 右上 左下 右下	表示位置を選択します。
Hオフセット	0～1460(0)	タイムコードの表示位置を調整します。
タイプ文字表示	オン 、オフ	VITC/LTC文字の表示を設定します。
明るさ	ノーマル 、ハーフ	文字の明るさを設定します。
オーディオレベル メーター ^{1, 4}	オーディオレベルメーターの各種設定をします。選択したチャンネル数の音声レベルを表示します。 2画面または4画面表示のとき、[チャンネル設定] ➡ [音声端子]を[オート]にすると、複数のオーディオレベルメーターを表示します。画面全体で最大8チャンネルまで表示できます。	
表示	オン、 オフ	オーディオレベルメーターの表示／非表示を切り換えます。
チャンネル数(SDI)	2CH 4CH 6CH 8CH 8CH (1-4, 5-8)	SDI信号入力時の表示チャンネル数を設定します。[オーディオ設定]の[SDIグループ]に応じて選択肢が変わります。 [SDIグループ] ➡ [CH1-CH8]のとき [2CH]：CH1～CH2 [4CH]：CH1～CH4 [6CH]：CH1～CH6 [8CH]：CH1～CH8 [SDIグループ] ➡ [CH9-CH16]のとき [2CH]：CH9～CH10 [4CH]：CH9～CH12 [6CH]：CH9～CH14 [8CH]：CH9～CH16
チャンネル数(HDMI)	2CH 4CH 6CH 8CH	HDMI信号入力時の表示チャンネル数を設定します。 [2CH]：CH1～CH2 [4CH]：CH1～CH4 [6CH]：CH1～CH6 [8CH]：CH1～CH8
サイズ	大 中 小	表示の大きさを設定します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ピークホールド	オン 、オフ	音声信号がピーク時の1秒間分を保持します。
基準レベル	-40 ~0(-20)	基準レベルを設定します。
明るさ	ノーマル 暗 ハーフ	オーディオレベルメーターの明るさを設定します。
波形モニター ¹	<p>波形モニターの各種設定をします。波形モニターは、横軸に映像の横解像度、縦軸に信号レベルを配置し表示します。波形モニターの右側に、使用中の[カラーレンジ]と[HDRレンジ]の情報(縦線)を表示します。</p> 	
表示	オン、 オフ	波形モニターの表示／非表示を切り換えます。
信号選択	Y 、Cb、Cr、R、G、B	表示波形を設定します。
表示形式	すべて ライン	表示形式を設定します。 [ライン]: 1ライン分の表示をします。
ライン選択	1 ~2160	[ライン]を選択したとき、どのラインを表示するかを選択します。
スケール	オート IRE ST 2084 (PQ) Full ST 2084 (PQ) Limited Hybrid Log-Gamma Canon Log Canon Log 2 Canon Log 3 S-Log2 S-Log3 ARRI (Rec2100-PQ-1K-100) ARRI (Rec2100-HLG-1K-200)	波形モニターのスケールを設定します。 [オート]: [ガンマ/EOTF]と[カラーレンジ]の設定内容に応じて設定します。
基準ライン	4 ~ 1023	指定した位置にガイドが表示されます。[1023]で非表示になります。







サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
基準レベル	オート マニュアル	基準レベルの範囲を設定します。基準レベルの範囲外を着色します。 [オート]: [ガンマ/EOTF]と[カラーレンジ]の設定内容に応じて設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • HDRレンジに対応した[ガンマ/EOTF]の場合、HDRレンジを超えた部分を着色します。 • [カラーレンジ] ➡ [リミテッド]の場合、リミテッドの範囲外を着色します。
基準レベル 高	468 ～1023	基準表示レベル(高)を設定します。[1023]で非表示になります。
基準レベル 低	0 ～468	基準表示レベル(低)を設定します。[0]で非表示になります。
カラー	表示する信号と、基準レベルを超えた信号の表示色を設定します。	
Y	ホワイト	[Y]、[Cb]、[Cr]、[R]、[G]、[B]: 選択した信号の色を選択します。各信号の初期値は次のとおりです。 Y(ホワイト)、Cb(ホワイト)、Cr(ホワイト)、R(レッド)、G(グリーン)、B(ブルー) [基準レベル 高]、[基準レベル 低]: 選択した基準レベルの信号の色を選択します。各基準レベルの初期値は次のとおりです。 基準レベル 高(マゼンタ)、基準レベル 低(シアン)
Cb	レッド	
Cr	グリーン	
R	ブルー	
G	イエロー	
B	シアン	
基準レベル 高	マゼンタ	
基準レベル 低		
明るさ	オート ノーマル 暗	波形モニターの明るさを設定します。 [オート]: コントラストの値や入力信号の平均輝度値に応じて、自動で明るさを調整します。
ポジション ³	左下 右下	表示位置を選択します。
サイズ	大、 中 、小	表示の大きさを設定します。
ベクトルスコープ ¹	ベクトルスコープの各種設定をします。ベクトルスコープは、横軸に色差信号Cb、縦軸にCrを配置し、色信号の強さや色相を表示します。 	
表示	オン、 オフ	ベクトルスコープの表示／非表示を切り換えます。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ターゲット	75% 100% 75% + 100%	ターゲットを設定します。
ポジション ³	左下 右下	表示位置を選択します。
サイズ	大、 中 、小	表示の大きさを設定します。
ヒストグラム ^{1, 5}	映像の輝度分布を表示します。 	
表示	オン、 オフ	[ヒストグラム]の表示／非表示を切り換えます。
カラー	オート ノーマル フォルスカラー	[オート]: [ピクチャーファンクション設定] ➡ [フォルスカラー] ➡ [表示] ➡ [オフ]以外のとき、自動的に[フォルスカラー]の設定内容に合わせて表示します。 [ノーマル]: モノクロで表示します。 [フォルスカラー]: [ガンマ/EOTF] ➡ [SMPTE ST 2084 (PQ)]または[Hybrid Log-Gamma]のときに、[フォルスカラー]の設定内容に合わせて表示します。 [フォルスカラー] ➡ [表示] ➡ [フォルスカラー1]または[オフ]のとき: [フォルスカラー1]の設定内容 [フォルスカラー] ➡ [表示] ➡ [フォルスカラー2]のとき: [フォルスカラー2]の設定内容
ゲイン	x1 、x2、x3	グラフを拡大して表示します。
HDRレンジ	オン オン(クリップ) オフ	[オン]: HDRレンジを超えた部分を着色します。 [オン(クリップ)]: HDRレンジを超えた部分と、HDRレンジを超えてクリップされた部分を着色します。 [オフ]: HDRレンジを超えた部分を着色しません。
HDR/SDR比率	オン 、オフ	[ガンマ/EOTF] ➡ [SMPTE ST2084 (PQ)]または[Hybrid Log-Gamma]のとき [HDR/SDR比率]の表示／非表示を切り換えます。HDR/SDRの比率計算は、[フォルスカラー] ➡ [HDR/SDR境界]の設定値を使用します。
ピーク/平均輝度	オン 、オフ	[ガンマ/EOTF] ➡ [SMPTE ST2084 (PQ)]または[Hybrid Log-Gamma]のとき [ピーク/平均輝度]の表示／非表示を切り換えます。
サイズ	大 、小	表示の大きさを設定します。

サブメニュー		設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)
フレーム輝度モニター ^{1, 6}		<p>[ガンマ/EOTF] ➡ [SMPTE ST 2084(PQ)]または[Hybrid Log-Gamma]の場合に、画面全体(フレーム)の「最大／平均輝度」を表示します。それ以外の場合は、「最大／平均階調値」を表示します。[フレーム輝度モニター]は、解像度が[4096×2160]、[3840×2160]、[2048×1080]、[1920×1080]の場合に使用できます。</p> <p>●輝度グラフ</p> <div><p>平均輝度の現在値(累積最大値)</p><p>ピーク輝度の現在値(累積最大値)</p></div> <p>●比率グラフ</p> 

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
輝度グラフ設定	[輝度グラフ]の表示方法を設定します。	
輝度分布	オン、オフ	輝度の分布グラフの表示／非表示を切り換えます。
カラー	オート ノーマル フォルスカラー	<p>[オート]: [ピクチャーファンクション設定] ➤ [フォルスカラー] ➤ [表示] ➤ [オフ]以外するとき、自動的に[フォルスカラー]の設定内容に合わせて表示します。</p> <p>[ノーマル]: モノクロで表示します。</p> <p>[フォルスカラー]: [ガンマ/EOTF] ➤ [SMPTE ST 2084 (PQ)]または[Hybrid Log-Gamma]のときに、[フォルスカラー]の設定内容に合わせて表示します。</p> <p>[フォルスカラー] ➤ [表示] ➤ [フォルスカラー1]または[オフ]のとき: [フォルスカラー1]の設定内容</p> <p>[フォルスカラー] ➤ [表示] ➤ [フォルスカラー2]のとき: [フォルスカラー2]の設定内容</p>
基準輝度レベル - ピーク	オート マニュアル	<p>[オート]: [HDRレンジ]の設定に連動して、ピーク輝度の上限を超えた部分を自動的に着色します。</p> <p>[マニュアル]: ピーク輝度の上限值を設定します。</p>
	400 ～10000 (1000)	[マニュアル]のときに設定します。設定値を超えた部分を着色します。(400 ～4000: 100刻み。4000 ～10000: 1000刻み)
	平均 100 ～1000 (400)	設定値を超えた部分を着色します。(100刻み)
基準輝度上昇レベル - ピーク	0 ～1000 (400)	ピーク輝度の上昇レベルの基準値を設定します。(10 cd/m ² 刻み)
	平均 0 ～1000 (200)	平均輝度の上昇レベルの基準値を設定します。(10 cd/m ² 刻み)
HDR/SDR比率グラフ設定	[HDR/SDR比率グラフ]の表示方法を設定します。SDRおよびHDRの比率は、[フォルスカラー] ➤ [HDR/SDR境界]の設定値と各レンジの設定値を使用します。	
タイプ	HDR/SDR HDR	<p>[HDR/SDR]: HDR領域とSDR領域の割合を表示します。</p> <p>[HDR]: HDR領域における輝度値の割合を表示します。</p>
スケール	オート、100%、75%、50%、25%	[タイプ] ➤ [HDR]のとき 輝度値の[スケール]を設定します。
サイズ	大、小	表示の大きさを設定します。
リセット		表示内容をリセットします。
エクスポート	[フレーム輝度モニター]を有効時に取得した輝度の情報を、USBメモリーにエクスポートします。	
ピクセル値チェック ^{1,7}	[ガンマ/EOTF] ➤ [SMPTE ST 2084 (PQ)]または[Hybrid Log-Gamma]のとき 指定したピクセル(カーソル)位置の輝度とRGB値を測定して表示します。[ピクセル値チェック]は、解像度が[4096×2160]、[3840×2160]、[2048×1080]、[1920×1080]の場合に使用できます。	
表示	オン、オフ	ピクセル値チェックの表示／非表示を切り換えます。
Hポジション	1 ～4096 (960)	ピクセル位置(水平)を設定します。
Vポジション	1 ～2160 (540)	ピクセル位置(垂直)を設定します。
リセットポジション	ノーマル ピーク輝度周辺	<p>RESETボタンを押下したときの動作を設定します。</p> <p>[ノーマル]: 初期値にリセットします。</p> <p>[ピーク輝度周辺]: 表示画像内のピーク輝度エリアの近辺に移動します。</p>

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
テストパターン ⁸	ホワイト (1023)、 ホワイト (940)、 グレー、 ブラック (64)、 ブラック (0)、 Ramp、 カラーバー、 カラーバー (PQ Full)、 カラーバー (PQ Limited)、 カラーバー (HLG)、 PLUGE、 PLUGE (PQ/HLG)、 オフ	本機に内蔵されているテストパターンを設定します。
シグナルモニタリング ⁹	入力信号の状態を監視します。	
コントロール	オン、 オフ	[シグナルモニタリング]の有効／無効を設定します。
エラーホールド	オン (No time out) オン (5秒) オフ	エラーが検出されたときに表示されるエラー表示の表示時間を設定します。 [オン (No time out)]：エラー表示を出し続けます。表示を消去するときは、OSDメニューを閉じているときにRESETボタンを押します。 [オン (5秒)]：エラー表示後、エラーがない検出結果が出ると、5秒後に表示が消えます。 [オフ]：エラーが検出されている間のみ、表示します。エラーがなくなると、表示は消えます。
無信号/非対応信号	オン 、オフ	[無信号]または[非対応信号]の場合に、エラー表示を出します。
2SI Link Order	オン 、オフ	[2 Sample Interleave]で入力された信号の場合に、入力端子に挿しているケーブルの順番が異なるときにエラー表示を出します。
SDI CRCエラー	オン、 オフ	SDI信号で、誤り (CRCエラー) 検出の場合に、エラー表示を出します。
8K 2SI フォーマット	オン、 オフ	SDI信号で、[チャンネル設定] ➡ [入力信号選択] ➡ [オート]のとき、4つの端子の入力信号の状態を監視します。
8K 2SI スイッチング	オン、 オフ	[8K 2SI フォーマット]のエラーが出ないときに、1端子ずつ映像を切り換えながら表示します (12G-SDI信号のみ)。
エラーログ	エラーの履歴を表示します。	

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
スクリーンキャプチャー	画面をキャプチャーします。	
キャプチャー実行		キャプチャーを実行します。USBメモリーのルートフォルダーに「YYYYMMDD_hhmmss.bmp」または「YYYYMMDD_hhmmss.jpg」というファイル名で保存します。
フレームホールド	オン、 オフ	映像を一時停止します。
キャプチャー対象	すべて 映像のみ	キャプチャーする対象を選択します。 [すべて]: マーカーや波形モニターなどの映像補助機能やOSDメニューも含めてキャプチャーします。 [映像のみ]: 映像信号のみキャプチャーします。
ファイル形式	Bitmap JPEG	キャプチャーする画像のファイル形式を設定します。
HDR/SDR比較ファイル作成	オン、 オフ	HDR/SDR画像の明るさを、PCなどで比較できる画像ファイルを追加で作成します。保存されるファイルのファイル名には[_pc]が付きます。
ファイル再生 ¹⁰	ファイル選択 実行	キャプチャーした画像を再生します。 [ファイル選択]: ファイルを選択します。 [実行]: 再生を実行します。
ファイル再生終了		再生を終了します。
カメラリンク 	CINEMA EOS SYSTEMのカメラ、ARRI社製／パナソニック社製シネマカメラと連携する機能を設定します。	
自動画質設定 (CINEMA EOS)	[ピクチャーモード]  [CINEMA EOS SYSTEM]、[入力設定]  [12-3G/HD-SDI] または [3G-SDI RAW] のとき カメラの画質設定に連動するかどうかを設定します。	
	オン 、オフ	[カラーガマット/ガンマ/EOTF]、[色温度]、[カラーレンジ]のすべてを[オン]にした場合の設定値対応表をご参照ください。(67)
	カラーガマット/ガンマ/EOTF	カメラの設定に応じてディスプレイの画質を対応させます。
	色温度	
	表示カラーガマット	カメラの[Color Space]が[Cinema Gamut]または[DCI-P3+]の場合、ディスプレイで表示する色域を設定します。
自動画質設定(ARRI)	[ピクチャーモード]  [User 6]～[User 7]、[入力設定]  [12-3G/HD-SDI] のとき カメラの画質設定に連動するかどうかを設定します。	
	オン 、オフ	設定値対応表をご参照ください。(68)
User LUT	Rec2100-PQ-1K-100 Rec2100-HLG-1K-200 User LUT 1～8	[自動画質設定(ARRI)]  [オン] のとき ディスプレイで表示する色域とガンマ/EOTFを設定します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
自動画質設定 (VARICAM)	[ピクチャーモード] ➡ [User 6]～[User 7]、[入力設定] ➡ [12-3G/HD-SDI]のとき カメラの画質設定に連動するかどうかを設定します。	
	オン、オフ	設定値対応表をご参照ください。(68)
User LUT	V-Log to V-709 User LUT 1～8	[自動画質設定(VARICAM)] ➡ [オン]のとき ディスプレイで表示する色域とガンマ/EOTFを設定します。
アナモフィック	オン、オフ	キヤノン製カメラを本機に接続時、カメラのメタデータにアナモフィック クレンズの表示設定が含まれている場合は、設定内容に応じて表示し ます。
エリアマーカー ¹¹	ARRI Frame line 1A ARRI Frame line 1B オフ	ARRI社製シネマカメラを本機に接続時、メタデータに応じて、[エリ アマーカー]の[Hポジション]、[Vポジション]、[幅]、[高さ]が変わ ります。
カメラインフォメーショ ン	オート オン オフ	カメラ情報の表示を設定します。 [オート]：カメラ情報が変化したときに、4秒間自動表示します。 [オン]：常時カメラ情報を表示します。 [オフ]：カメラ情報を表示しません。

¹ 本機の設定または入力信号の状態によって、表示できる情報表示機能が異なります。

●：表示できます －：表示できません

	タイム コード	オーディオ レベル メーター	波形 モニター	ベクトル スコープ	ヒスト グラム	フレーム 輝度 モニター	ピクセル値 チェック
SD-SDI信号のとき	●	●	－	－	－	－	－
ズーム表示中：[ズーム] ➡ [タイプ] ➡ [ノーマル]のとき	●	●	－	－	－	－	－
[フレームホールド] ➡ [オン]のとき (プログレッシブ信号時)	－	－	●	●	●	●	●
[フレームホールド] ➡ [オン]のとき (インターレース信号またはPsF信号時)	－	－	－	－	●	●	●
[ピーキング] ➡ [表示] ➡ [ピーキング1]または [ピーキング2]のとき	●	●	－	－	●	●	●
[スクリーンキャプチャー]の[ファイル再生]を実行中	－	－	－	－	－	－	－
[オーディオレベルメーター]と表示位置が重なったとき	－		●	●	●	●	●
[テストパターン]を表示中	－	－	－	－	－	－	－
[Multi View (Quad)]表示中	●	●	－	－	－	－	－
[Multi View (Dual)]表示中	●	●	●	●	－	－	－
[1入力Dual View]表示中	●	●	●	●	●	●	－
[チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [タイプ] ➡ [L/R]のとき：[Multi View (Dual)]または[1入力Dual View]表示時	●	●	●	●	－	－	－
[チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [タイプ] ➡ [L/R]のとき、かつ1画面表示時	●	●	－	－	－	－	－
[ピクチャーファンクション設定] ➡ [比較表示] ➡ [表示] ➡ [オン]のとき：[1入力Dual View] ➡ [オフ]、 かつ解像度が「4096x2160 / 3840x2160」のとき	●	●	－	－	－	－	－
[波形モニター]を表示中：[波形モニター] ➡ [信号選択] が[R] [G] [B]のとき	●	●	●	－	●	●	●
[波形モニター]を表示中、[波形モニター] ➡ [サイズ] ➡ [大]のとき：[波形モニター]と[ベクトルスコープ] の[ポジション]の設定が同じとき、または[Multi View (Dual)]／[1入力Dual View]表示時	●	●	●	－	●	●	●
I/PsFの4K信号を1画面表示時、かつ[波形モニター]と [ベクトルスコープ]の[ポジション]の設定が同じとき	●	●	●	－	●	●	●
無信号または非対応信号を入力時	●	●	●	●	－	－	－
解像度が「4096x2160 / 3840x2160 / 2048x1080 / 1920x1080」以外の映像を表示中	●	●	●	●	－	－	－

- ² ● [Multi View(Dual)]表示時、[Hオフセット]の設定は無効です。
- [タイプ]: HDMI信号の場合、設定は無効です。[VITC]固定になります。
- ³ [ポジション]: [Multi View (Dual)]表示時、設定は無効になります。
- ⁴ ● [チャンネル設定] ➡ [音声端子] ➡ [オート]のとき
- [Multi View (Quad)]表示時、[チャンネル数]は[2CH]になります。
- [Multi View (Dual)]表示時、[チャンネル数]は[4CH]になります。
- [チャンネル数 (SDI)] ➡ [8CH (1-4, 5-8)]は、[サイズ] ➡ [大]のとき、[8CH]を選択時と同じ動作になります。
- ⁵ [サイズ]: [1入力Dual View]表示中は、[小]固定です。
- ⁶ ● [フレーム輝度モニター]の表示中にOSDメニューを操作すると、更新に時間がかかったり、[フレーム輝度モニター]のグラフ表示がリセットされることがあります。
- [サイズ]: [1入力Dual View]表示中は、[小]固定です。
- ⁷ [ピクセル値チェック]の表示中にOSDメニューを操作すると、更新に時間がかかることがあります。
- ⁸ ● 電源を入れ直した場合、テストパターンは表示されません。
- 次の場合、テストパターンは消去されます。
- キャリブレーションが開始されたとき
- CHボタン、チャンネルアップ/ダウンが登録されたFボタン、[チャンネル設定]の[セレクトチャンネル]でチャンネルを切り換えたとき
- [チャンネル設定]の[入力設定]または[入力信号選択]を切り換えたとき
- [全設定リセット]を実行したとき
- ⁹ ● 次の場合、[シグナルモニタリング]は使用できません。
- [1入力Dual View]表示時
- 画像がズーム表示されているとき
- テストパターンを表示中
- [スクリーンキャプチャー]の[ファイル再生]を実行中
- エラー表示中、[インモニターディスプレイ]は表示されません。
- エラー表示の位置は、[インモニターディスプレイ] ➡ [ポジション]で調整できます。
- [8K 2SIスイッチング]: 次の場合、動作しません。
- [フレームホールド] ➡ [オン]のとき
- ¹⁰ ● キャプチャーした画像を、本機以外で再生すると、正確な色で再生されない場合があります。
- ファイル名に[_pc]がついたHDR/SDR比較画像は再生できません。
- ¹¹ [マーカープリセット]が[オフ]の場合は、表示されません。

■ CINEMA EOS SYSTEMとキャノン製ディスプレイの設定値対応表

CINEMA EOS SYSTEM	キャノン製ディスプレイ	
Color Space	カラーガマット	色温度
BT.709	ITU-R BT.709	D65
BT.2020	ITU-R BT.2020	D65
DCI-P3	DCI-P3	DCI-P3
DCI-P3+	DCI-P3+ to 709	D65
	DCI-P3+ to DCI	DCI-P3
Cinema Gamut	Cinema Gamut to 709	D65
	Cinema Gamut to 2020	D65
	Cinema Gamut to DCI	DCI-P3
RAW Gamut	Cinema Gamut to 709	D65
	Cinema Gamut to 2020	D65
	Cinema Gamut to DCI	DCI-P3

CINEMA EOS SYSTEM	キャノン製ディスプレイ	
ガンマ/EOTF	ガンマ/EOTF	HDRレンジ
Canon Log	Canon Log (HDR)	—
Canon Log 2	Canon Log 2 (HDR)	
RAW Gamma		
Canon Log 3	Canon Log 3 (HDR)	2000
ST 2084, PQ	SMPTE ST 2084(PQ)	
Normal(BT.709)	2.2	
Wide DR		
EOS Std.		
DCI-P3	2.6	

■ ARRI社製シネマカメラとキャノン製ディスプレイの設定値対応表

ARRI社製シネマカメラ	キャノン製ディスプレイ				
Color Space	表示カラー ガンマット	CDL/ User LUT	カラー ガンマット	ガンマ/EOTF	HDRレンジ
REC 709	—	—	ITU-R BT.709	2.2	—
REC 2020	—	—	ITU-R BT.2020	2.2	—
Wide Gamut Log C	Rec2100-PQ- 1K-100	ARRI (Rec2100- PQ-1K-100)	ITU-R BT.2020	SMPTE ST 2084 (PQ)	1000
	Rec2100-HLG- 1K-200	ARRI (Rec2100- HLG-1K-200)	ITU-R BT.2020	Hybrid Log-Gamma	—
	User LUT 1～8	User LUT 1～8	—	—	—

■ パナソニック社製シネマカメラとキャノン製ディスプレイの設定値対応表

パナソニック社製 シネマカメラ	キャノン製ディスプレイ				
Color Space	表示カラーガ マット	CDL/User LUT	カラー ガンマット	ガンマ/EOTF	HDRレンジ
V-709	—	—	ITU-R BT.709	2.2	—
V-Log	V-Log to V-709	VARICAM (V-Log to V-709)	ITU-R BT.709	2.2	—
	User LUT 1～8	User LUT 1～8	—	—	—

ピクチャーファンクション設定

映像補助機能などを設定するときに使うメニューです。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ピーキング ¹	輪郭を着色して表示し、フォーカスの確認などに使用します。ピーキングをカスタマイズして、ピーキング1、2に設定します。	
表示	ピーキング1 ピーキング2 オフ	ピーキングの表示モードと非表示を切り換えます。
モノクロ	[ピーキング1]のとき オン 、オフ [ピーキング2]のとき オン、 オフ	映像をモノクロ表示にします。
周波数	[ピーキング1]のとき 低、 中 、高 [ピーキング2]のとき 低、中、 高	輪郭強調信号の中心周波数を設定します。
レンジ	-3 ～ 3(0)	着色する帯域の幅を設定します。
カラー	ホワイト、 レッド 、 グリーン、ブルー、 イエロー、シアン、 マゼンタ	着色の色を設定します。
フォルスカラー ²	映像の輝度レベルごとに異なる色で表示し、露出状態や輝度の分布が確認しやすくなります。フォルスカラーをカスタマイズして、フォルスカラー1、2に設定します。	
表示	フォルスカラー1 フォルスカラー2 オフ	フォルスカラーの表示モードと非表示を切り換えます。
タイプ	オート IRE SMPTE ST 2084 (PQ) Hybrid Log-Gamma	着色する色の表示方法を設定します。 [オート]: [ガンマ/EOTF]の設定内容に応じて設定します。
HDR/SDR境界	100、 200	SDRとHDR領域の境界値を設定します。
レンジ - SDR	[フォルスカラー1]のとき オン、 オフ [フォルスカラー2]のとき オン 、オフ	SDR領域内を着色するかどうかを設定します。 [オン]のときに、着色する領域の範囲を設定します。(10刻み) モノクロ／茶色：10 ～190(90*) (40) 茶色／モノクロ：20 ～200(100*) (80) * [HDR/SDR境界]が[100]の場合

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
レンジ - HDR	<p>[フォルスカラー1]のとき オート オート(オーバーレンジ) マニュアル [フォルスカラー2]のとき オート オート(オーバーレンジ) マニュアル</p>	<p>着色する色の範囲を設定します。</p> <p>[オート]: [ガンマ/EOTF]の設定内容に応じて、自動的に上限値を設定します。</p> <p>[マニュアル]または[オート(オーバーレンジ)]のときに、着色する色の範囲を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [SMPTE ST 2084 (PQ)]のときの設定値(100～1000: 10刻み、1000～4000: 100刻み、4000～10000: 1000刻み) <ul style="list-style-type: none"> 青/水色: 250(150*)～400 水色/緑: 400～1000 緑/黄: 600～4000 黄/橙: 800～8000 橙/赤: 1000～10000([マニュアル]のときのみ) [Hybrid Log-Gamma]のときの設定値(10刻み) <ul style="list-style-type: none"> 青/水色: 250(150*)～300 水色/緑: 300(200*)～500 緑/黄: 400(300*)～700 黄/橙: 500(400*)～900 橙/赤: 600(500*)～1000([マニュアル]のときのみ) <p>* [HDR/SDR境界]が[100]の場合</p>
オーバーレンジ ³	映像をモノクロで表示し、設定した範囲を超える部分を着色して表示します。	
表示	オン、 オフ	[オーバーレンジ]の表示/非表示を切り換えます。
レンジ (HDR)	オート 、マニュアル	<p>[オート]: [ガンマ/EOTF] ➡ [SMPTE ST 2084 (PQ)]または[Hybrid Log-Gamma]のとき、[HDRレンジ]の設定値を超えた部分のみを着色します。</p> <p>[マニュアル]: [SMPTE ST 2084 (PQ)]または[Hybrid Log-Gamma]で設定した範囲の超えた部分のみを着色します。</p>
SMPTE ST 2084 (PQ)	100～10000(1000)	着色する色の範囲を設定します。(100～1000: 10刻み、1000～4000: 100刻み、4000～10000: 1000刻み)
Hybrid Log-Gamma	100～1000(1000)	着色する色の範囲を設定します。(10刻み)
レンジ (SDR)	512～1023(940)	着色する色の範囲を設定します。(1刻み)
2020 色域外表示 ³	<p>[ピクチャーモード]または[カラーガマット] ➡ [ITU-R BT.2020]のとき 映像をモノクロで表示し、選択したカラーガマットを超える色域の部分を赤色で表示します。</p>	
表示	オン、 オフ	[2020 色域外表示]の表示/非表示を切り換えます。
カラーガマット	ITU-R BT.709 Native	色域外とする[カラーガマット]を設定します。
レンジ	0～512(0)	<p>暗部を着色するときの範囲を設定します。(1刻み)</p> <p>0: 暗部すべてに着色します。</p> <p>512: 設定値以下の暗部には着色しません。</p>

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
モノクロ ⁴	オン、 オフ	モノクロで表示します。
ブルーオンリー ⁵	オン、 オフ	赤と緑信号をカットし、青信号のみをモノクロで表示します。
レッドオフ ⁴	オン、 オフ	赤信号をカットして表示します。
グリーンオフ ⁴	オン、 オフ	緑信号をカットして表示します。
ブルーオフ ⁴	オン、 オフ	青信号をカットして表示します。
比較表示 ⁶	画質の設定が異なる画像を左右2画面で表示して比較することができます。(左右画面の[ピクチャーモード]が同じとき)	
表示	オン、 オフ	比較モードでの表示／非表示を設定します。
タイプ	オート HDR/SDR CDL/User LUT	比較する画像のタイプを設定します。 [オート]：[画質設定] ➡ [CDL/User LUT]が[オフ]のときは[HDR/SDR]、それ以外の場合は[CDL/User LUT]の設定になります。 [HDR/SDR]：HDRとSDRの画像を表示します。 [CDL/User LUT]：左画面のみ、[CDL]または[User LUT]を適用した画像を表示します。
HDR/SDR 変換方式	2020 HDR to 709 SDR 2020 HDR to 2020 SDR User LUT 1～8 オフ	[タイプ] ➡ [HDR/SDR]または[オート([HDR/SDR]の設定)]のとき SDRに設定された画面の表示方法を設定します。 [2020 HDR to 709 SDR]、[2020 HDR to 2020 SDR]：[ガンマ/EOTF]の設定値に応じて、設定が異なります。 [SMPTE ST 2084(PQ)]：各設定に対応した[User LUT]を適用します。 [Hybrid Log-Gamma]：各設定に対応した[User LUT]を適用します。 [Canon Log(HDR)]、[Canon Log 2(HDR)]、 [Canon Log 3(HDR)]：[Canon Log]、[Canon Log 2]または[Canon Log 3]を適用します。 [S-Log2 (HDR)]、[S-Log3 (HDR)]：[HDRレンジ]の設定値[100]を設定します。 [User LUT 1～8]：指定した[User LUT]を適用します。[User LUT]を適用後、ディスプレイ内部の画質設定は、[カラーガマット]は[ITU-R BT.709]、[ガンマ/EOTF]は[2.4]固定になります。 [オフ]：輝度のみを下げます。
コントラスト (SDR)	500～2000 (1000)	[タイプ] ➡ [HDR/SDR]または[オート([HDR/SDR]の設定)]のとき SDR側のコントラストを設定します。
色温度 (SDR)	ノーマル 、 D93、D65、 D65 Custom、 DCI-P3	[タイプ] ➡ [HDR/SDR]または[オート([HDR/SDR]の設定)]のとき SDR側の色温度を設定します。
ゲイン (SDR)	-15～15 (0)	[タイプ] ➡ [HDR/SDR]または[オート([HDR/SDR]の設定)]のとき SDR側のゲインを設定します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
User LUT 比較対象 1	User LUT 1 ~ User LUT 8、 オフ	[タイプ] ➤ [CDL/User LUT] または [オート ([User LUT] の設定)] のとき 比較対象を設定します。
User LUT 比較対象 2 (Quad)	User LUT 1 ~ User LUT 8、 オフ	[タイプ] ➤ [CDL/User LUT] または [オート ([User LUT] の設定)] のとき 比較対象を設定します。
User LUT 比較対象 3 (Quad)	User LUT 1 ~ User LUT 8、 オフ	[User LUT 1-8] : [Multi View (Quad)] 表示時、1/4画面ごとにUser LUTが適用され、比較表示します。

- ¹
- [スクリーンキャプチャー]の[ファイル再生]を実行中は、[ピーキング]は表示できません。
 - [表示]は、電源を入れ直した場合、[オフ]になります。
 - [比較表示] ➤ [表示]が[オン]のときは、設定できません。
- ²
- [スクリーンキャプチャー]の[ファイル再生]を実行中は、[フォルスカラー]は表示できません。
 - [表示]は、電源を入れ直した場合、[オフ]になります。
 - [比較表示] ➤ [表示]が[オン]のときは、設定できません。
 - [タイプ]の[IRE]を選択時、[HDRレンジ]の設定は無効になります。
- ³
- [表示]は、電源を入れ直した場合、[オフ]になります。
 - [比較表示] ➤ [表示]が[オン]のときは、設定できません。
- ⁴
- 電源を入れ直した場合、[オフ]になります。
 - [比較表示] ➤ [表示]が[オン]のときは、設定できません。
- ⁵
- [CDL/User LUT] ➤ [CDL 1-8]または[オフ]以外を選択時、[ブルーオンリー]は設定できません。
 - 電源を入れ直した場合、[オフ]になります。
 - [比較表示] ➤ [表示]が[オン]のときは、設定できません。
- ⁶
- 次の場合、[比較表示]は設定できません。
 - [チャンネル設定] ➤ [ピクチャーモード] ➤ [タイプ] ➤ [L/R]のとき
 - [ピーキング]、[フォルスカラー]、[オーバーレンジ]または[2020 色域外表示] ➤ [表示] ➤ [オン]のとき
 - [モノクロ]、[ブルーオンリー]、[レッドオフ]、[グリーンオフ]または[ブルーオフ] ➤ [オン]のとき
 - SD-SDI信号の場合
 - 解像度が2K以下の信号を1画面表示しているときは、[1入力Dual View]表示になります。

ネットワーク/IMD設定

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
LAN ¹	本機のネットワークの設定をします。	
IPアドレス取得	自動 手動	[自動]: DHCP/Auto IPにより自動で取得します。 [手動]: IPアドレスとサブネットマスクを手動で設定します。
ディスプレイ	192.168.0.1	
サブネットマスク	255.255.255.0	
Wi-Fi	Wi-Fiを使って本機をネットワークに接続し、外部制御機器から本機を操作します。(20)	
コントロール	インフラストラクチャー アクセスポイント オフ	Wi-Fiの接続方式を設定します。 [インフラストラクチャー]: アクセスポイントを介してWi-Fiに接続する方式です。 [アクセスポイント]: 本機がアクセスポイントの働きをして、Wi-Fi機器と直接接続する方式です。
インフラストラクチャー		接続するアクセスポイントを設定します。接続先のアクセスポイントの初期値は未設定です。
パスワード		パスワードの入力が必要な場合は、半角英数字記号24文字以内で設定できます。パスワードの初期値は未設定です。
アクセスポイント		アクセスポイントの設定をします。
SSID		SSIDを入力します。半角英数字記号24文字以内で設定できます。
周波数	2.4 GHz、 5.0 GHz	通信モードを設定します。
チャンネル	[2.4 GHz]のとき 1 ~13(1刻み) [5.0 GHz]のとき 36、40、 44 、48	通信を行うチャンネルを設定します。
パスワード		パスワードを入力します。半角英数字記号8文字以上、24文字以内で設定します。 パスワードの初期値は変更してください。パスワードの初期値はシリアルNo.です。シリアルNo.は、ご使用の製品に個別に割り当てられている12桁の数値で、[システムインフォメーション]画面で確認できます。
Web	Webブラウザを使って本機をリモート操作します。(22)	
コントロール	オン、 オフ	ネットワークまたはWi-Fiに接続した機器のWebブラウザから、本機をリモートで操作するときに、外部機器からの制御信号を受け付けるかどうかを設定します。
ユーザー ID		ユーザー IDを入力します。半角英数字記号16文字以内で設定します。ユーザー IDの初期値は[user]です。
パスワード		パスワードを入力します。半角英数字記号8文字以上、16文字以内で設定します。パスワードの初期値はシリアルNo.です。シリアルNo.は、ご使用の製品に個別に割り当てられている12桁の数値で、[システムインフォメーション]画面で確認できます。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ディスプレイ設定連動 ²	画質設定 チャンネル 画質設定/チャンネル オフ	LAN接続したディスプレイ間での設定値の連動を行います。本機の設定値が、連動先のディスプレイに反映されます。 ※設定連動を行う前に、以下のことを確認してください。 ① 本機および連動対象機器の電源を入れ、各機器がネットワーク上で認識されていることを確認する ② 画質設定またはチャンネルを変更して連動することを確認する 連動できる機種とファームウェアのバージョンは、次のとおりです。 DP-V3120：Version 1.0 以上 DP-V2410：Version 1.4 以上 DP-V2420 / DP-V2421：Version 1.3 以上 DP-V1710 / DP-V1711：Version 1.3 以上 DP-V2411：Version 1.2 以上 未接続になったディスプレイはRESETボタンで消去できます。
インモニターディスプレイ(IMD)	本機は、Television Systems Ltd社の「TSL UMD Protocol Ver. 5.0」に対応しています。LAN端子に接続した外部機器から操作して、画面上に文字とタリーを表示できます。本機から直接、任意の文字を入力することもできます。(19)	
コントロール	TSL Ver. 5.00 マニュアル オフ	接続機器からの制御信号を受け付けるかどうかを設定します。 [マニュアル]：本機で文字を入力するときに選択します。接続機器からの制御信号は受け付けません。
ポジション	上 下	文字とタリーの表示位置を、画面の上部または下部に設定します。
マニュアル表示種別 ³	オート Single Dual A,B、Dual C,D Quad A,B,C,D	[オート]：入力設定に応じて、表示を変更します。 [Single]：1画面表示します。 [Dual A,B]、[Dual C,D]：2画面に表示します。 [Quad A,B,C,D]：4画面に表示します。
マニュアル表示名	(Single) (Dual/Quad A) (Dual/Quad B) (Dual/Quad C) (Dual/Quad D) (1入力Dual L) (1入力Dual R)	[コントロール] ➡ [マニュアル]のとき 選択した[マニュアル表示名]に、表示する文字を設定します。入力できる文字は英数字記号(半角)で、16文字までです。

¹ [パワーオン設定]が[User 1]～[User 3]の場合は設定できません。

² ● 本機の操作ボタンまたはGPI操作による設定値の変更に連動します。Payload ID、HDMI、カメラなどによるリンク動作では、設定連動は正しく動作しません。
● 設定内容や設定範囲が異なる機能がある機種の場合、正しく連動しない設定があります(設定が変更されない、初期設定になる、など)。
● ネットワーク環境が不安定であったり、帯域が不足しているなど、正しく通信が行えない環境では、設定連動が動作しない場合があります。LANには制御対象ディスプレイのみを接続してください。
● 設定連動は、最大32台まで動作します。

³ [ファンクション設定] ➡ [シグナルモニタリング] ➡ [コントロール] ➡ [オン]のときは、マニュアル表示種別は[オート]固定です。

システム設定

本機のシステムに関する設定をするときに使うメニューです。

サブメニュー		設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ファンクション／チャンネルボタン		FボタンやCHボタンに登録する機能やチャンネルを設定します。	
ディスプレイファンクション		本機のFボタンに登録する機能を設定します(14)。Fボタンを選択して、リストから機能を登録します(80)。	
ディスプレイファンクション(CDL)			
ディスプレイチャンネル		ディスプレイのCHボタンに登録するチャンネルを設定します。	
CH1		CH1 ～ CH20(CH1)	CHボタンを選択して、チャンネル番号を登録します。リストは[チャンネル設定] (41)で設定されている内容が表示されます。
CH2		CH1 ～ CH20(CH2)	
CH3		CH1 ～ CH20(CH3)	
リモート(GPI) ¹		REMOTE端子に接続したスイッチャーなどの外部機器から、本機を操作できます。GND(No.8ピン)をNo.1 ～ 7に接続(ショート)することで動作します。	
タイプ		レベル、 ショートエッジ	[レベル]: ショートしている間、動作します。 [ショートエッジ]: ショートするたびに、動作する／しないを切り換えます。
Pin1 ～ Pin7		各GPIのピンに機能を登録します。(18) 登録できる機能 ² : SMPTE-C、EBU、ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、Adobe RGB、DCI-P3、User 1(2020 PQ)、User 2(2020 HLG)、User 3(DCI PQ)、User 4(DCI PQ D65)、User 5 ～ User 7、CINEMA EOS SYSTEM、ACESproxy (ver. 1.0.1)、CH1 ～ CH5、アスペクトマーカ、セーフティゾーンマーカ 1/2、エリアマーカ、センターマーカ、グリッドマーカ、タイムコード、オーディオレベルメーター、波形モニター、ベクトルスコープ、ヒストグラム、フレーム輝度モニター、フォルスカラー1/2、比較表示、MENU、タリー グリーン、タリー レッド、電源オン、－(未設定) 設定が有効な機能: アスペクトマーカ、セーフティゾーンマーカ 1/2、エリアマーカ、センターマーカ、グリッドマーカ、タイムコード、オーディオレベルメーター、波形モニター、ベクトルスコープ、ヒストグラム、フレーム輝度モニター、フォルスカラー1/2、比較表示 ※[タリー]について タリーは、画面上部に表示されます。[タリー グリーン] [タリー レッド]を組み合わせると、[タリー アンバー]になります。	
言語		English 日本語 簡体中文	OSDやメッセージの表示言語を設定します。
日時		年／月／日／時／分を設定します。	

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ディスプレイ名	本機の名前を設定します。入力できる文字は英数字記号(半角)で、16文字までです。	
OSD設定		
バナー	チャンネル名や信号情報、本機の状態を表示するバナーの表示方法を設定します。	
オート表示	オン 、オフ	入力信号やピクチャーモードが変更したときに、自動的にバナーを表示します。
ピクチャーモード	オン 、オフ	[ピクチャーモード]の表示／非表示を設定します。
タイムアウト	オン 、オフ	バナーを自動で消去します。
ファンクションボタンガイド	オン 、オフ	[オン]: OSD非表示中にジョグダイヤルを押すと、本機のFボタンに登録されている機能の一覧を表示します。 [オフ]: ファンクションボタンガイドを表示しません。
OSDポジション	モード1(4096×2160) モード2(3840×2160)	[モード1(4096×2160)]: OSDを4096×2160領域に表示します。 [モード2(3840×2160)]: OSDを3840×2160領域に表示します。
OSDサイズ	大 小	OSDメニューのサイズを「大」「小」から選択できます。
OSD明るさ	オート(明-中) オート(明-暗) 明 中 暗	OSDの明るさを設定します。 [オート]では、画面のコントラストに応じて、自動的に明るさを調整します。調整範囲([明-暗]または[明-中])を選択できます。
設定プロテクト	設定内容を変更できないようにします。MENUボタンを押した場合[シグナル／システムインフォメーション]は表示しますが、それ以外は操作できないためグレー表示になります。	
パスワード		プロテクトをする場合のパスワードを設定します。数字4桁(0000～9999)です。パスワードの初期値は未設定です。
プロテクト対象		ピクチャーモードとセレクトチャンネルは、プロテクト設定の対象からはずすことができます。
ピクチャーモード	オン 、オフ	[オン]: [ピクチャーモード]の設定内容をプロテクトします。 [オフ]: [ピクチャーモード]の設定内容をプロテクト対象からはずします。
セレクトチャンネル	オン 、オフ	[オン]: [セレクトチャンネル]の設定内容をプロテクトします。 [オフ]: [セレクトチャンネル]の設定内容をプロテクト対象からはずします。
ファンクション設定	オン 、オフ	[オン]: [ファンクション設定]の設定内容をプロテクトします。 [オフ]: [ファンクション設定]の設定内容をプロテクト対象からはずします。
プロテクト		プロテクトするときは[OK]を選択します。パスワード設定時はパスワードを入力後、[OK]を選択します。 ※設定プロテクトの解除のしかた [プロテクト]にフォーカスを移動させ、ジョグダイヤルを約3秒長押しします。パスワード設定時はパスワードを入力後、[OK]を選択します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
電源ランプ／本体ボタンLED設定		
電源ランプ 明るさ	オフ 1 ～ 5(3)	本機の電源ランプの明るさを調整します。数字が大きくなるほど明るくなります。
本体ボタン 点灯設定	オン 、オフ	Fボタンと文字盤のランプを設定します。
本体ボタン名 点灯時間(秒)	60 、30、10、5	何も操作しないときに、文字盤のランプが消灯するまで時間(秒)を設定します。
互換設定	HDMI機器との接続互換性や、本機のファームウェアのバージョンによって異なる機能の動作を設定します。	
HDMI	ノーマル 互換優先1 互換優先2	[ノーマル]：すべてのフォーマットに対応します。 [互換優先1]：[通常]で映像が正しく表示されない場合に設定します。 ディスプレイ本体のもつ輝度以上のHDR 信号は非対応です。 [互換優先2]：[通常]または[互換優先1]で映像が正しく表示されない場合に設定します。[4K50.00P/60.00P]とHDR信号は非対応になります。
バックライトコントロール	ノーマル 互換優先	[ノーマル]：ファームウェアがDP-V2420/DP-V2421のVersion1.1の場合と比較して、HDRの動画視認性が向上します。 [互換優先]：ファームウェアがDP-V2420/DP-V2421のVersion1.1の場合と同等の表示になります。
バックライトフラッシュ低減	オン 、オフ	[画質設定] ➡ [バックライトコントロール]の[オフ]以外を選択時、暗いシーンから明るいシーンに切り替わるときなど、輝度差のある映像表示時に発生するフラッシュのように見える現象を低減します。
User LUT ³	ノーマル 互換優先	[ノーマル]：波形モニターなどの映像の情報表示が、User LUTの適用後の状態になります。 [互換優先]：波形モニターなどの映像の情報表示が、User LUTの適用前の状態になります。
ファームウェア/ライセンスアップデート	ファームウェアをアップデートするときに使用します。詳細は、キヤノンのホームページでご確認ください。	

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
エクスポート／インポート ⁴	メインメニューのエクスポート／インポートの設定をします。	
エクスポート		
ターゲット	USB User 1 ～ User 3 LAN	エクスポート先を選択します。 [USB]：USBメモリーにエクスポートします。 [User 1]～[User 3]：本体内のメモリーにエクスポートします。 [LAN]：LAN接続したディスプレイにエクスポートします。
ファイル名		[ターゲット] ➡ [USB]または[User 1-3]のとき 工場出荷時の初期値は「dinfo_dpv3120.dat」です。USBメモリーにエクスポートするファイル名は半角英数記号16文字以内で変更できます。
ディスプレイ		[ターゲット] ➡ [LAN]のとき LAN接続したディスプレイの中から、設定をエクスポートするディスプレイを選択します。
実行		エクスポートを実行します。
インポート		
ターゲット	USB User 1 ～ User 3	インポートするファイルの保存先を指定します。
ファイル名		拡張子(.dat)のファイルを表示し、選択します。
設定種別	すべて 画質設定 チャンネル設定 ディスプレイ設定 オーディオ設定 マーカー設定 ファンクション/ネット ワーク/システム	インポートする設定を選択します。
実行		インポートを実行します。
パワーオン設定	ラストメモリー User 1 ～ User 3	電源投入後のディスプレイの設定状態を選択できます。 [ラストメモリー]：前回電源を切ったときの設定で起動します。 [User 1]～[User 3]：[エクスポート]で[User 1]～[User 3]に保存した設定で起動します。
全設定リセット	OK キャンセル	すべての設定を工場出荷時に戻します。選択すると[すべての設定を工場出荷時の設定に戻しますか?] ⁵ というメッセージが表示されます。 [OK]：リセットを実行します。 [キャンセル]：リセットを実行せずに、1つ前の画面に戻ります。

- ¹ ● 次の場合、正しく機能が動作しません。
- 複数のPinに同じ機能を登録したとき
 - [リモート(GPI)]や各ピンに登録した機能の設定内容の変更を、各ピンをショートさせた状態で行ったとき
- ² ● 各種マーカー：[マーカープリセット]が[オフ]の場合は、表示できません。
- [電源オン]：[Pin7]にのみ、登録できます。
- ³ ● [User LUT]：[ピクチャーファンクション設定] ➡ [比較表示] ➡ [表示] ➡ [オン]のとき、[ノーマル]固定です。
- ⁴ ● 次の設定内容はエクスポート／インポートされません。

ディスプレイ設定	ズームプリセット、フレームホールド
ピクチャーファンクション設定	ピーキング(表示)、フォルスカラー(表示)、オーバーレンジ(表示)、2020 色域外表示(表示)、テストパターン、モノクロ、ブルーオンリー、レッドオフ、グリーンオフ、ブルーオフ、比較表示(表示)
ネットワーク/IMD設定	LAN、Wi-Fi、ディスプレイ設定連動 (LANとWi-Fi：ネットワーク経由のエクスポート／インポートのみ)
システム設定	日時、エクスポート／インポート、パワーオン設定

- User LUTのデータは、[ターゲット]の[User 1]～[User 3]にはエクスポート／インポートされません。
- 本機からエクスポートしたデータは、ファームウェアのバージョンが本機より前の製品にはインポートできない場合があります。インポートしたいときは、最新のファームウェアのバージョンにアップデートしてからお使いください。

■ ディスプレイのFボタンに登録できる機能(75)

項目	機能
画質設定	ピクチャーモード
	コントラスト
	ブライトネス
	クロマ
	クロマアップ
	シャープネス
	バックライトコントロール
	ガンマ/EOTF
	HDR
	HDRレンジ
	HDR/SDR比較表示
	ゲイン
	バイアス
	xy
ピクチャーモード	SMPTE-C
	EBU
	ITU-R BT.709
	ITU-R BT.2020
	Adobe RGB
	DCI-P3
	User 1 (2020 PQ)
	User 2 (2020 HLG)
	User 3 (DCI PQ)
	User 4 (DCI PQ D65)
	User 5 ~ User 7
	CINEMA EOS SYSTEM
	ACESproxy (ver. 1.0.1)
CDL/User LUT	CDL/User LUT
	CDL RGB
	CDL R
	CDL G
	CDL B
	CDL SOP/SAT
	CDL Slope
	CDL Offset
	CDL Power
	CDL Saturation
	CDL/User LUTバイパス
	CDLエクスポート/インポート

項目	機能
チャンネル設定	チャンネルアップ ¹
	チャンネルダウン ¹
	入力信号選択
	音声端子
	1入力 Dual View
	CH1 ~ CH20
ディスプレイ設定	スクリーンスケーリング
	アナモフィック
	スケーリング法
	ズームプリセット
	ズーム 1
	ズーム 2
	ズーム 3
	フレームホールド
オーディオ設定	バックグラウンドカラー
	SDIグループ
	CH L
	CH R
	音量
マーカー設定 ²	音声切換
	マーカープリセット
	マーカー1
	マーカー2
	マーカー3
	マーカー4
	マーカー5
	アスペクトマーカー
	セーフティゾーンマーカー1
	セーフティゾーンマーカー2
	エリアマーカー
	センターマーカー
	グリッドマーカー

項目	機能
ファンクション設定	TC/ALM
	タイムコード
	オーディオレベルメーター
	WFM/VEC
	波形モニター
	波形モニター信号選択
	ベクトルスコープ
	ヒストグラム/フレーム輝度
	ヒストグラム
	フレーム輝度モニター
	ピクセル値チェック
	シグナルモニタリング ログ
	キャプチャー
	カメラインフォメーション
ピクチャー ファンクション設定	ピーキング
	ピーキング1
	ピーキング2
	フォルスカラー
	フォルスカラー1
	フォルスカラー2
	オーバーレンジ
	2020 色域外表示
	モノクロ
	ブルーオンリー
	レッドオフ
	グリーンオフ
	ブルーオフ
	比較表示
システム設定	シグナルインフォメーション
	OSD一時消去 ³

¹ [チャンネルアップ/ダウン]でチャンネルを切り換える場合、[入力設定] (41)が[－]のチャンネルはスキップします。

² Fボタンで[マーカ－]関連の設定を切り換えると、現在選択されている[マーカ－プリセット]の[表示]に反映されます。

³ [OSD一時消去]は、すべてのOSDを非表示にする機能です。[オン]を選択すると、OSDと[セパレーター]、[バックグラウンドカラー]が非表示となりますが、メニューの操作はできます。

シグナルインフォメーション

信号の情報を表示します。[入力信号選択]が[Quad Input]のときは、信号全体と各入力の情報が表示できます。メニュー右上のガイドに従ってジョグダイヤルで選択してください。画面に表示されていなくても信号情報が取得されている場合には、その内容をグレースアウト表示します。

SDI信号		HDMI信号	
項目	表示例	項目	表示例
チャンネル	CH1	チャンネル	CH4
入力設定	12-3G/HD-SDI (3G-A)	入力設定	HDMI
入力信号選択	Quad Input	フォーマット	オート
Image Division	オート	解像度	4096x2160
フォーマット	オート	Picture Rate, I/P/PsF	60.00P
解像度	4096x2160	Pixel Encoding, Color Depth	4:2:2 YCbCr 10-bit
Picture Rate, I/P/PsF*	24.00P	Matrix	ITU-R BT.709
SDI Payload ID	89 C3 46 01	Range	フル
Video Standard	3G-SDI	EOTF	SMPTE ST 2084 (PQ)
Sampling Structure, Bit Depth	4:4:4:4 GBRA 10-bit	Max Luminance (Peak/Avg.)	1000 / 500 cd/m ²
Picture Rate	24.00	Display Luminance (Max/Min)	1000 - 0.005 cd/m ²
Scanning Method	Progressive/Progressive (Transport/Picture)	White Point	x=0.313, y=0.329
Link Number	Single/Link_1	Primary Color Red	x=0.640, y=0.330
Colorimetry	UHD	Primary Color Green	x=0.300, y=0.600
Transfer Characteristics	SDR-TV	Primary Color Blue	x=0.150, y=0.060

* グレースアウト表示しているときに、[24.00P *]のように[Picture Rate]の精度が低いことを示す[*]が表示される場合があります。

システムインフォメーション

本機のステータスやネットワーク情報を表示します。

項目	表示例
ディスプレイ	DP-V3120
シリアルNo.	0000000000000
ファームウェア/ライセンスVer.	1.0
使用時間*	5 h
IPアドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
MACアドレス	FF:FF:FF:FF:FF:FF
Wi-Fi IPアドレス	192.168.0.1
Wi-Fi サブネットマスク	255.255.255.0

* 工場出荷時の検査などにより、購入時の使用時間は[0]ではない場合があります。

対応信号フォーマット

SDI

* 音声信号に対応していないフォーマットです。

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
SD-SDI	720x487i 59.94/60.00 Hz*	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE-259M
	720x576i 50.00 Hz*			
HD-SDI	1280x720P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 292-1 SMPTE 296
	1280x720P 50.00 Hz			
	1280x720P 29.97/30.00 Hz			
	1280x720P 25.00 Hz			
	1280x720P 23.98/24.00 Hz			
	1920x1080i 59.94/60.00 Hz			SMPTE 292-1 SMPTE 274M
	1920x1080i 50.00 Hz			
	1920x1080P 29.97/30.00 Hz			
	1920x1080PsF 29.97/30.00 Hz			
	1920x1080P 25.00 Hz			
	1920x1080PsF 25.00 Hz			
	1920x1080P 23.98/24.00 Hz			
	1920x1080PsF 23.98/24.00 Hz			
	2048x1080i 59.94/60.00 Hz			SMPTE 292-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	2048x1080i 50.00 Hz			
	2048x1080P 29.97/30.00 Hz			
	2048x1080PsF 29.97/30.00 Hz			
	2048x1080P 25.00 Hz			
	2048x1080PsF 25.00 Hz			
	2048x1080P 23.98/24.00 Hz			
	2048x1080PsF 23.98/24.00 Hz			
3G-SDI (Level A)	1280x720P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 296
	1280x720P 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	
	1280x720P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	
	1280x720P 25.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	
	1280x720P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	
	1920x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level A)	1920x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	1920x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	2048x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	2048x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:2:2 YCbCr		
	2048x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level A)	2048x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 X'Y'Z'		
	4:2:2 YCbCr			
	2048x1080P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
4:2:2 YCbCr		12-bit	SMPTE 2048-2	
2048x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9	
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
	4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1	
	4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2	
2048x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9	
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
	4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1	
	4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level B)	1920x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 274M
	1920x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	1920x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	2048x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	2048x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	
	2048x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level B)	2048x1080P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格	
3G-SDI (Level B)	2048x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2	
		4:2:2 YCbCr	12-bit		
Dual Link 3G-SDI (Level A)	1920x1080P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 274M	
		4:2:2 YCbCr	12-bit		
	1920x1080P 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit		
		4:2:2 YCbCr	12-bit		
	2048x1080P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit		
	2048x1080P 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit		
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit		
	2048x1080P 47.95/48.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit		
4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr		12-bit			
Dual Link 3G-SDI (Level B)	1920x1080P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 274M	
		4:2:2 YCbCr	12-bit		
	1920x1080P 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit		
		4:2:2 YCbCr	12-bit		
	2048x1080P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit		
	2048x1080P 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit		
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit		
	2048x1080P 47.95/48.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit		
4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr		12-bit			

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Dual Link 3G-SDI Square Division (Level B)	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 274M
	3840x2160PsF 29.97/30.00 Hz			
	3840x2160P 25.00 Hz			
	3840x2160PsF 25.00 Hz			
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz			
	3840x2160PsF 23.98/24.00 Hz			
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz			SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 29.97/30.00 Hz			
	4096x2160P 25.00 Hz			
	4096x2160PsF 25.00 Hz			
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz			
	4096x2160PsF 23.98/24.00 Hz			
Dual Link 3G-SDI 2 Sample Interleave (Level B)	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 274M
	3840x2160P 25.00 Hz			
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz			
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz			SMPTE 425-3 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 25.00 Hz			
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz			
Quad Link HD-SDI	3840x2160i 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 292-1 SMPTE 274M
	3840x2160i 50.00 Hz			
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz			
	3840x2160PsF 29.97/30.00 Hz			
	3840x2160P 25.00 Hz			
	3840x2160PsF 25.00 Hz			
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz			
	3840x2160PsF 23.98/24.00 Hz			
	4096x2160i 59.94/60.00 Hz			SMPTE 292-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	4096x2160i 50.00 Hz			
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz			
	4096x2160PsF 29.97/30.00 Hz			
	4096x2160P 25.00 Hz			
	4096x2160PsF 25.00 Hz			
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz			
	4096x2160PsF 23.98/24.00 Hz			

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level A)	3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
	3840x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	4096x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level A)	4096x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
	4096x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI 2 Sample Interleave (Level A)	3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-5
	3840x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 274M
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-5
	4096x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 428-9
	4096x2160P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 428-19
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
Quad Link 3G-SDI (Level B)	3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1
	3840x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 372
		4:4:4 YCbCr	12-bit	SMPTE 274M
	3840x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level B)	3840x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	4096x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:2:2 YCbCr		
	4096x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:2:2 YCbCr		
	4096x2160P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level B)	4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level B)	4096x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 372
				SMPTE 428-9
				SMPTE 428-19
				SMPTE 2048-2
Quad Link 3G-SDI 2 Sample Interleave (Level B)	3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1
				SMPTE 372
	3840x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 2048-2
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	3840x2160P 25.00 Hz	4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	4096x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	4096x2160P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:2:2 YCbCr		
	4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:2:2 YCbCr		
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:2:2 YCbCr		
6G-SDI	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 2081-10
	3840x2160P 25.00 Hz			
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz			
	4096x2160P 25.00 Hz			
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz			
Dual Link 6G-SDI Square Division, 2 Sample Interleave	3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 2081-11
	3840x2160P 50.00 Hz			

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
12G-SDI	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 2082-10
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit		
3840x2160P 50.00 Hz				
4096x2160P 47.95/48.00 Hz				
4096x2160P 59.94/60.00 Hz				
4096x2160P 50.00 Hz				

RAW

信号フォーマット
3840x2160P 59.94 Hz、 50.00 Hz、 29.97 Hz、 25.00 Hz、 24.00 Hz、 23.98 Hz
4096x2160P 59.94 Hz、 50.00 Hz、 29.97 Hz、 25.00 Hz、 24.00 Hz、 23.98 Hz

97

HDMI

信号フォーマット	カラーフォーマット/カラーデプス
640x480P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 8-bit
800x600P 60.00 Hz	
1024x768P 60.00 Hz	
720x480P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 12-bit/10-bit/8-bit
720x576P 50.00 Hz	4:4:4 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
1280x720P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr 12-bit
1280x720P 50.00 Hz	
1920x1080P 59.94/60.00 Hz	
1920x1080i 59.94/60.00 Hz	
1920x1080P 50.00 Hz	
1920x1080i 50.00 Hz	
1920x1080P 29.97/30.00 Hz	
1920x1080P 25.00 Hz	
1920x1080P 23.98/24.00 Hz	
2048x1080P 59.94/60.00 Hz	
2048x1080P 50.00 Hz	
2048x1080P 29.97/30.00 Hz	
2048x1080P 25.00 Hz	
2048x1080P 23.98/24.00 Hz	
3840x2160P 59.94/60.00 Hz	
3840x2160P 50.00 Hz	
3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 12-bit/10-bit/8-bit
3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:2:2 YCbCr 12-bit
4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 8-bit
4096x2160P 50.00 Hz	4:4:4 YCbCr 8-bit
	4:2:2 YCbCr 12-bit
	4:2:0 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 12-bit/10-bit/8-bit
4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:2:2 YCbCr 12-bit

画像・フレーム表示

98 SDI

信号システム			表示のしかた	
720×487	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
720×576	50.00	i	50.00	P
1280x720	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
1920x1080	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
2048x1080	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	47.95/48.00	P	47.95/48.00	P
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P

信号システム			表示のしかた	
3840x2160	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
4096x2160	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	47.95/48.00	P	47.95/48.00	P
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P

*：フレーム2度描き

HDMI



信号システム			表示のしかた	
640x480	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
800x600	60.00	P	60.00	P
720x480	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
720x576	50.00	P	50.00	P
1024x768	60.00	P	60.00	P
1280x720	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
1280x720	50.00	P	50.00	P
1920x1080	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
1920x1080	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
1920x1080	50.00	P	50.00	P
1920x1080	50.00	i	50.00	P
1920x1080	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
1920x1080	25.00	P	50.00	P*
1920x1080	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
2048x1080	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
2048x1080	50.00	P	50.00	P
2048x1080	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
2048x1080	25.00	P	50.00	P*
2048x1080	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
3840x2160	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
3840x2160	50.00	P	50.00	P
3840x2160	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
3840x2160	25.00	P	50.00	P*
3840x2160	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
4096x2160	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
4096x2160	50.00	P	50.00	P
4096x2160	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
4096x2160	25.00	P	50.00	P*
4096x2160	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*


*：フレーム2度描き

エラーメッセージ

	メッセージ	説明と対処法
ネットワーク	通信エラーが発生しました。	IPアドレスが重複している、またはネットワーク通信異常などの可能性があります。ネットワーク環境をご確認ください。
	IPアドレスが不正です。	正しいIPアドレスを入力してください。
	サブネットマスクが不正です。	正しいサブネットマスクを入力してください。
	ディスプレイが接続されていません。	本機の設定をエクスポートするキャノン製ディスプレイと本機が、LANケーブルで正しく接続されているかをご確認ください。
各種設定、CDLのエクスポート	USBメモリーの空き容量が不足しています。	別のUSBメモリーを接続するか、メモリー内の情報を削除してください。
	ファイルの書き込みに失敗しました。	USBメモリーに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーをご確認ください。
LUT、各種設定、CDLのインポート	(LUTインポート時)異なるLUTタイプのファイルです。 (CDLインポート時)異なるファイル形式です。	正しいファイル形式を選択してください。
	ファイルの読み込みに失敗しました。	USBメモリーに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーをご確認ください。
	インポートに失敗しました。	インポートするファイルに異常があります。ファイルをご確認ください。
	インポートファイルがありません。	USBメモリー、または[User 1]～[User 3]にインポートファイルが入っているかをご確認ください。
スクリーンキャプチャー	キャプチャーに失敗しました。	USBメモリーに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーをご確認ください。
	無効な映像信号です。	無信号や、非対応の信号が入力されているなど、映像が表示されていない画面をキャプチャーしています。信号を確認後に再入力し、キャプチャーしてください。
	コピープロテクトされています。	キャプチャーしようとした信号は、HDMIのコピー保護規格HDCP 2.2でプロテクトされている可能性があります。この場合、キャプチャーはできません。HDMI信号をご確認ください。
	キャプチャーファイルの再生に失敗しました。	USBメモリーまたはファイルに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーまたはファイルをご確認ください。
	キャプチャーファイルがありません。	USBメモリーにキャプチャーファイルが入っているかをご確認ください。

メッセージ		説明と対処法
ハードウェア	バックライトの異常を検出しました。	電源コードをいったん抜いてから再度接続し、電源を入れてください。 それでもこのメッセージが表示される場合には、お客様相談センターにご相談ください。
	ファンの異常を検出しました。	
	パネルの異常を検出しました。	
	I/F部の異常を検出しました。	
	システムエラーを検出しました。	
入力信号	無信号	映像信号が入力されていないときに表示されます。
	非対応信号	非対応の映像信号が入力されています。対応信号フォーマット(□83)をご確認ください。
操作	操作は無効です。	操作ができません。各設定項目をご確認ください。
	プロテクト設定中です。	OSDメニューを操作する場合には、[プロテクト]にフォーカスを移動させ、ジョグダイヤルを約3秒長押ししてください。
	CDL/User LUTバイパス設定中です。	[CDL/User LUTバイパス]が[オン]のときは、[Power]、[Saturation]、[Offset]、[Slope]の調整はできません。
	パスワードが不正です。	正しいパスワードを入力してください。
USBメモリー	USBメモリーが接続されていません。	USBメモリーを本機のUSB端子に正しく接続してください。
	非対応USBメモリーです。	USBメモリーのフォーマット種別やセキュリティがかかっていないかをご確認ください。
Wi-Fiアダプター	Wi-Fiアダプターが接続されていません。	Wi-Fiアダプターを本機のUSB端子に正しく接続してください。
	Wi-Fiアクセスポイントに接続できませんでした。	パスワードが異なる、またはネットワーク通信異常などの可能性があります。ネットワーク環境をご確認ください。
ファームウェアのアップデート	アップデートファイルがありません。	ファームウェアのアップデートファイルがUSBメモリーなどに保存されていません。
	アップデートファイルの読み込みに失敗しました。	ファイルに異常があります。ファイルをご確認ください。
	ファームウェア/ライセンスはアップデート済みです。	本機でのアップデートが適用されているファイルです。

症状	原因と対処	
電源が入らない (電源ランプが点灯しない)	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ボタンを押してください。 ● AC電源コードが正しく接続されていることをご確認ください。 ● [電源ランプ 明るさ]が[オフ]になっている可能性があります。[オフ]以外に設定してご確認ください。 	77
画面が表示されない	<p>電源ランプが点灯しない場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源ボタンを押してください。 ● AC電源コードが正しく接続されていることをご確認ください。 <p>電源ランプが橙色に点灯している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源ボタンを押してください。 <p>電源ランプが橙色に点滅している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 点滅が3秒間に1回のとき：お客様相談センターにご相談ください。 ● 点滅が3秒間に2回のとき： <ul style="list-style-type: none"> - 電源ボタンで電源を入れてください。 - 使用環境によっては、本体の温度が予想以上に高く(低く)なる場合があります。環境条件をご確認ください。 また、直射日光が当たらないようにしてください。 - それでも電源が入らない場合は、お客様相談センターにご相談ください。 	—
希望の画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● 入力信号に合わせて、[チャンネル設定]の各項目を適切に設定してください。 	41
3G-SDI RAW信号の映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● CINEMA EOS SYSTEMカメラの機種により、3G-SDI RAW信号の映像を表示できない場合があります。対応製品については、キヤノンのホームページでご確認ください。 	—
Quad Input/Dual Inputのときに、表示されないエリアがある	<ul style="list-style-type: none"> ● 信号が入力されていない可能性があります。信号をご確認ください。 ● 非対応の組み合わせがあります。信号をご確認ください。 	44 82
映像が遅れて見える	<p>[バックライトフラッシュ低減]の設定が[オン]の場合、シーンによっては、映像が遅れて見えることがあります。その場合は、[オフ]にしてください。</p>	77
映像が一時的に静止する	<p>Webブラウザーを使用して[Capture]を実行している場合、画面が静止することがあります。[Capture]を終了する、または[Web]  [コントロール]を[オフ]にすると、通常の画面に戻ります。</p>	22 73

症状	原因と対処	
画面が明るすぎる／暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> OSDメニューの[コントラスト]を調整してください。 液晶ディスプレイのバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになった場合には、お客様相談センターにご相談ください。 	25
焼き付きが現れる	<ul style="list-style-type: none"> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをお勧めします。 	—
画面に点灯しないドットがある、または赤、青、緑、白のドットがある	<ul style="list-style-type: none"> 液晶ディスプレイは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。 	—
画面上に干渉縞が見られる／液晶パネルを押したあとが消えない	<ul style="list-style-type: none"> 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してください。症状が解消されることがあります。 	—
OSDメニューが操作できない	<ul style="list-style-type: none"> [設定プロテクト]が設定されていないことをご確認ください。 	76
[アスペクトマーカ―]、[セーフティゾーンマーカ―]、または[エリアマーカ―]が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 無信号、非対応信号、または[入力設定]が設定されていないチャンネルを選択している可能性があります。信号をご確認ください。 	82
ファンの音が大きい	<ul style="list-style-type: none"> 高輝度なコンテンツを表示し続けると、推奨使用温度の範囲内であっても、本体内部の温度が高くなり、内部の温度を下げるために、ファンが通常よりも速く回転します。本機の輝度を下げて使用することをお勧めします。 	—
[設定プロテクト]のパスワードを忘れた	<ul style="list-style-type: none"> 本機がスタンバイ状態のとき、ジョグダイヤルと\odotボタンを押してください。パスワードが未設定状態にリセットされます。 	—
電源を入れたとき、前回電源を切ったときの状態で起動しない	<ul style="list-style-type: none"> OSDメニューの[パワーオン設定]をご確認ください。[ラストメモリー]に設定すると、前回電源を切ったときの状態で起動します。 	78
[ピクチャーモード]のUserモードの画質がプリセットの画質と異なる	<ul style="list-style-type: none"> [ピクチャーモードコピー]でプリセットモードを選択し、設定内容をコピーしてください。 	33
左右の画面の画質が異なる	<ul style="list-style-type: none"> [チャンネル設定] ➤ [ピクチャーモード]の設定をご確認ください。 	8
画質が自動で変更される		43
同一の映像が2画面に表示される	<ul style="list-style-type: none"> [チャンネル設定] ➤ [1入力 Dual View]の設定をご確認ください。 	44

本機で使用しているソフトウェアについて

本機に組み込まれているソフトウェアには、当社または第三者のソフトウェアモジュールが含まれています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約条項およびその他の準拠法によって保護されています。

また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアモジュールを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License v2(以下、GPL)、GNU Lesser General Public License v2.1(以下、LGPL)またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアモジュールが含まれています。

本機に組み込まれているフリーソフトウェアモジュール

- | | | | |
|-----------------|----------------|-----------------------------|------------------|
| • linux kernel | • busybox | • glibc | • JFFS2 |
| • SquashFS | • FUSE | • libfuse | • libupnp |
| • avahi-autoipd | • libxml | • zlib | • libpng |
| • Newlib(libc) | • Newlib(libm) | • wireless_tools | • wpa_supplicant |
| • openssl | • libnl | • RealTek_WiFi_linux driver | |
| • dhcpd | • hostapd | | |

フリーソフトウェアのソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアモジュールを配布する条件として、そのモジュールのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびにGPL、LGPL、およびその他のライセンス契約の確認方法については、製品をお買い上げいただいた販売会社にお問い合わせください。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務

本機に組み込まれているソフトウェアモジュールには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そのライセンス表示を、以下に提示します。

■libupnp License

Copyright (c) 2000-2003 Intel Corporation All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■libxml License

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

■Newlib(libc) License

Copyright (c) 1990 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Copyright (c) 1991, 2000 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■Newlib(libm) License

Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Developed at SunPro, a Sun Microsystems, Inc. business.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that this notice is preserved.

■openssl

Copyright (C) 1998-2017 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

■wpa_supplicant, hostapd

Copyright (C) 2002-2016, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors

All Rights Reserved.

This software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2004-2014 by Internet Systems Consortium, Inc. ("ISC")

Copyright (c) 1995-2003 by Internet Software Consortium

110

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ISC DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL ISC BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Internet Systems Consortium, Inc.

950 Charter Street

Redwood City, CA 94063

<info@isc.org>

<https://www.isc.org/>

番号

1入力Dual View	44
2 Sample Interleave	41
200%(スクリーンスケール)	46
2020 ガマットマッピング	32
2020 コンスタントルミナンス	32
2020 色域外表示	70

A

ACESproxy	25
Adobe RGB	25

C

Canon Log、Canon Log 2、Canon Log 3	27
CDL/User LUT	30
CDL/User LUTバイパス	30
CDLエクスポート/インポート	12
CINEMA EOS SYSTEM(ピクチャーモード)	25
Cinema Gamut to 709	26
Cinema Gamut to 2020	26
Cinema Gamut to DCI	26

D

DCI-P3	25
DCI-P3+ to 709	26
DCI-P3+ to DCI	26
Dual Input	41
Dual Link 3G-SDI	41

E

EBU	25
-----------	----

G

Gamma LUT	27
Gamut LUT	26

H

HDMI	97、100
HDMIリンク	33
HDR/SDR比較表示	32
HDRレンジ	28

Hybrid Log-Gamma	27
Hybrid Log-Gamma System	32

I

Image Division	41
Input Transform	29
I/PsF	48
I/P変換	48
ITU-R BT.709	25
ITU-R BT.1886	27
ITU-R BT.2020	25

L

LAN(ネットワーク/IMD設定)	73
Link Order	42
LTC	56
LUTインポート	10、31

M

MACアドレス	82
Marker/TC/CameraInfo端子	42
Multi View (Dual/Quad)	41

N

Native Input Resolution(スクリーンスケール)	46
--	----

O

Offset	30
OSD明るさ	76
OSD一時消去	81
OSDサイズ	76
OSD設定	76
OSDポジション	76
OSDメニュー	4、25
Output Transform	29
Output Transform Surround	29

P

PLUGE(テストパターン)	62
Power	30
PsF	48

Q		
Quad Input	41	
R		
Ramp(テストパターン)	62	
RAW	97	
S		
Saturation	30	
SDI	83、98	
Single Input	41	
Slope	30	
SMPTE-C	25	
Square Division	41	
U		
User 1-7	25	
User LUT	30、77	
V		
VITC	56	
W		
Web	22、73	
Wi-Fi	20、73	
Y		
YCbCr カラーマトリクス	32	
ア		
アスペクトマーカー	51	
アナモフィック	46、64	
色温度	26	
インターナルシンク	43	
インモニターディスプレイ	74	
映像表示位置(Multi View)	47	
エクスポート／インポート	11、78	
エリアマーカー	54	
エリアマーカー(カメラリンク)	64	
オーディオ設定	50	
オーディオレベルメーター	56	
オーバーレンジ	70	
音声端子	42	
カ		
画質設定	25	
画質設定アンカー	7、33	
画質設定リセット	33	
画質優先	48	
カスタム(xy)(色温度)	26	
カメラインフォメーション	64	
カメラリンク	63	
カラーガマット	26	
カラーバー(テストパターン)	62	
カラーレンジ	29	
ガンマ/EOTF	27	
グリーンオフ	71	
グリッドマーカー	55	
グレー(テストパターン)	62	
クロマ	25	
ゲインR/G/B	26	
言語	75	
互換設定	77	
コントラスト	25	
サ		
サブネットマスク	73	
シェプトレース	47	
シグナルインフォメーション	82	
シグナルモニタリング	62	
システムインフォメーション	82	
システム設定	75	
自動画質設定(CINEMA EOS/ARRI/VARICAM)	63	
シャープネス	25	
詳細設定		
CDL/User LUT	30	
画質設定	31	
使用時間	82	
シリアルNo.	82	
ズーム	47	

スクリーンキャプチャー	63
スクリーンスケーリング	46
スケーリング法	47
セーフティゾーンマーカー1、2	52
設定プロテクト	76
セバレーター	44
セレクトチャンネル	41
全設定リセット	78
センターマーカー	54
速度優先	48

タ

タイムコード	56
チャンネル設定	41
チャンネル名	13、43
ディスプレイ設定	46
ディスプレイ設定連動	74
ディスプレイチャンネル	75
ディスプレイファンクション	75
ディスプレイ名	13、76
テストパターン	62
電源ランプ 明るさ	77
電源ランプ／本体ボタンLED設定	77

ナ

ニアレストネイバー	47
日時	13、75
入力信号選択	41
入力設定	41
ネットワーク/IMD設定	73

ハ

バイアスR/G/B	26
バイキュービック	47
波形モニター	57
パスワード	73、76
バックグラウンドカラー	48
バックライトコントロール	25、77
バックライトフラッシュ低減	77
バナー	76

パワーオン設定	78
ピーキング	69
比較表示	71
ピクセル値チェック	61
ピクチャーファンクション設定	69
ピクチャーモード	25、43
ピクチャーモードコピー	33
ヒストグラム	59
ファームウェア/ライセンスVer.	82
ファームウェア/ライセンスアップデート	77
ファンクション設定	56
ファンクション／チャンネルボタン	75
ファンクションボタンガイド	76
フィルムケイデンス	48
フォーマット	42
フォルスカラー	69
ブライトネス	25
ブラック(テストパターン)	62
ブルーオフ	71
ブルーオンリー	71
フレーム輝度モニター	60
フレームホールド	48
ベクトルスコープ	58
ホワイト(テストパターン)	62
本体ボタン 点灯設定	77
本体ボタン名 点灯時間	77

マ

マーカー設定	51
マーカープリセット	51
モノクロ	71

ラ

リモート(GPI)	75
レッドオフ	71
ローカルディミング	25

製品の取り扱い方法に関するご相談窓口

キヤノンお客様相談センター

050-555-90006(全国共通)

平日：9:00 ～ 17:00

※土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。

※上記番号をご利用いただけない方は、03-5428-1208にお問い合わせください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってはつながらないことがあります。

キヤノン 動画ディスプレイホームページ

動画ディスプレイホームページを開設しています。

最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方はぜひお立ち寄りください。

キヤノン 動画ディスプレイ 製品情報 canon.jp/v-display

キヤノン 動画ディスプレイ サポートページ canon.jp/dp-support

■本書の記載内容は、2019年8月現在のものです。

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。最新の情報および説明書については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6